

# 志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書

令和6年度 第2報

(令和6年7月～9月分)

令和6年12月

石 川 県



## は じ め に

石川県、志賀町及び北陸電力株式会社は、志賀原子力発電所（以下「発電所」という。）周辺における公衆の安全を確保し生活環境の保全を図るため、「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視年度計画」に基づき、発電所周辺地域における環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和6年7月から9月までの監視結果について、石川県原子力環境安全管理協議会において確認されたものを取りまとめたものです。



# 目 次

1	志賀原子力発電所の運転状況	1
1. 1	運転状況	1
(1)	1号機	1
(2)	2号機	2
1. 2	放射性廃棄物の放出状況	3
(1)	気体廃棄物の放出量	3
(2)	液体廃棄物の放出量	4
2	監視内容	5
2. 1	監視実施機関	5
2. 2	監視期間	5
2. 3	監視項目	5
(1)	空間放射線、大気中放射性物質の測定地点及び頻度	5
(2)	環境試料の採取地点及び頻度等	8
(3)	気象要素の観測地点及び頻度	10
3	監視結果	15
3. 1	空間放射線	15
(1)	線量率	15
3. 2	環境試料中の放射能	17
(1)	大気中放射性物質	17
(2)	核種分析（機器分析）	18
(3)	核種分析（放射化学分析）	19
	資料編	21
	参 考	57



1 志賀原子力発電所の運転状況

1. 1 運転状況

1号機は、平成23年10月8日より第13回定期検査を実施している。  
 2号機は、平成23年3月11日より第3回定期検査を実施している。

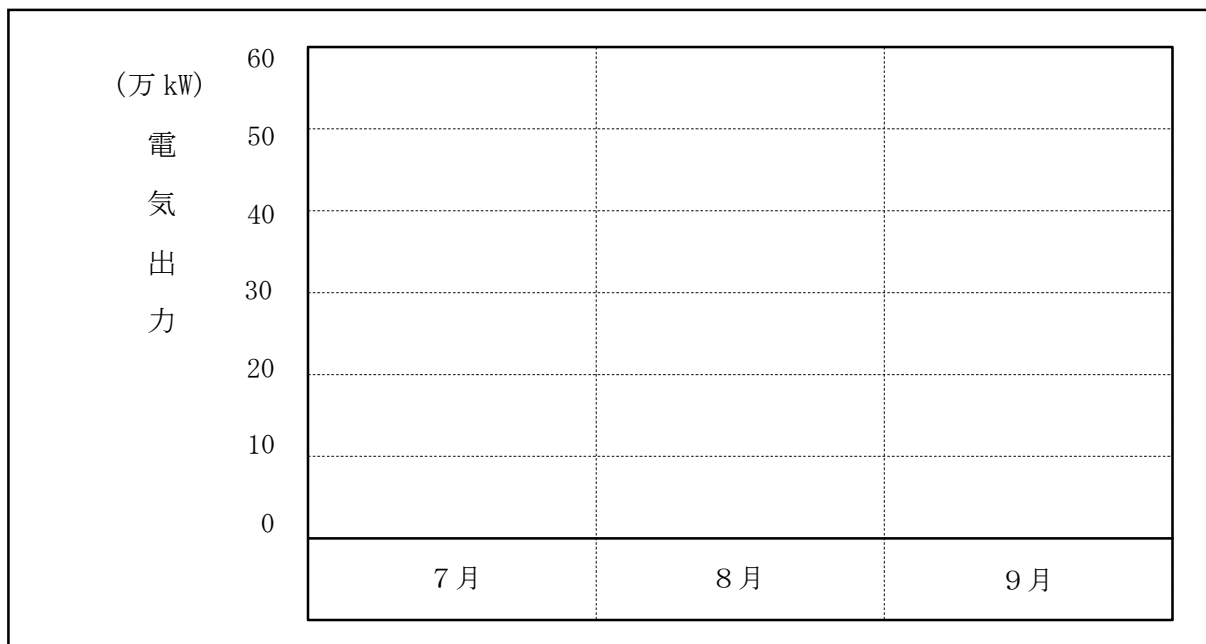
(1) 1号機

①運転実績

項目	単位	7月	8月	9月	備考
認可出力	万kW	54			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)  $\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$        $\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$

②運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年10月8日)	第13回定期検査開始

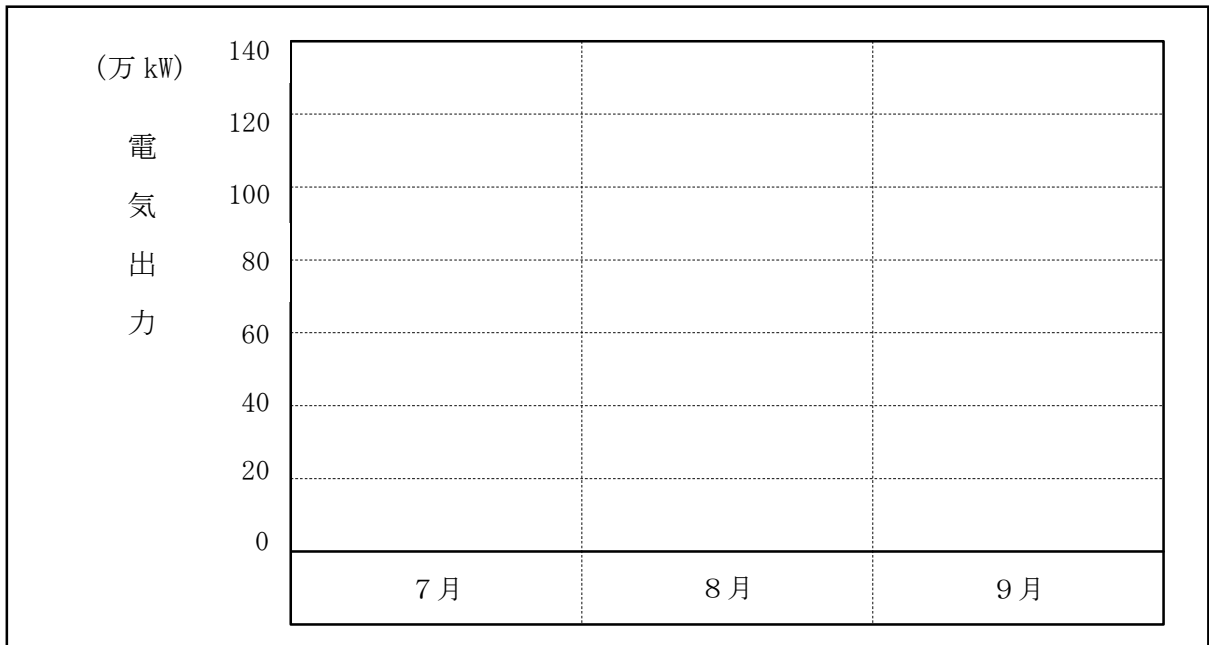
(2) 2号機

①運転実績

項目	単位	7月	8月	9月	備考
認可出力	万kW	120.6			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)  $\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$        $\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$

②運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年3月11日)	第3回定期検査開始



1. 2 放射性廃棄物の放出状況

(1) 気体廃棄物の放出量

(単位：Bq)

		全希ガス		ヨウ素-131	
		当該四半期の放出量	当該年度の累積値	当該四半期の放出量	当該年度の累積値
原子炉施設合計		——	——	——	——
排気筒別内訳	1号機排気筒	——	——	——	——
	2号機排気筒	——	——	——	——
	焼却設備排気筒	——	——	——	——

(続き)

		全粒子状物質		トリチウム	
		当該四半期の放出量	当該年度の累積値	当該四半期の放出量	当該年度の累積値
原子炉施設合計		——	——	$5.1 \times 10^9$	$8.6 \times 10^9$
排気筒別内訳	1号機排気筒	——	——	——	——
	2号機排気筒	——	——	$5.1 \times 10^9$	$8.6 \times 10^9$
	焼却設備排気筒	——	——	——	——

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満 (ND) の場合は、放出量を「——」で示す。

全希ガスの検出下限濃度は  $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$  以下

ヨウ素-131 の検出下限濃度は  $7 \times 10^{-9} \text{Bq/cm}^3$  以下

全粒子状物質の検出下限濃度は  $4 \times 10^{-9} \text{Bq/cm}^3$  以下 (Co-60 で代表した値)

トリチウムの検出下限濃度は  $4 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$  以下

トリチウムの年間放出量 (R3 年度～R5 年度原子炉施設合計実績)

$1.3 \times 10^{10} \sim 2.2 \times 10^{10} \text{ Bq}$

(単位：Bq)

全希ガスの放出管理目標値 (年間)	$2.3 \times 10^{15}$
ヨウ素-131 の放出管理目標値 (年間)	$4.8 \times 10^{10}$

(2) 液体廃棄物の放出量

(単位：Bq)

		全核種（トリチウムを除く）		トリチウム	
		当該四半期の放出量	当該年度の累積値	当該四半期の放出量	当該年度の累積値
原子炉施設合計		——	——	——	——
放水路別内訳	1号機放水路	——	——	——	——
	2号機放水路	——	——	——	——

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。  
 全核種(トリチウムを除く)の検出下限濃度は $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ 以下（Co-60で代表した値）  
 トリチウムの検出下限濃度は $2 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ 以下

(単位：Bq)

トリチウムを除く全核種の放出管理目標値（年間）	$7.4 \times 10^{10}$
トリチウムの放出管理の基準値（年間）	$7.4 \times 10^{12}$

## 2 監視内容

### 2. 1 監視実施機関

石川県及び北陸電力株式会社

### 2. 2 監視期間

令和6年7月～9月

### 2. 3 監視項目

#### (1) 空間放射線、大気中放射性物質の測定地点及び頻度

石川県実施分

測定地点 (図1参照)	測定項目			頻度	備考
	空間 線量率	大気中 放射性物質			
	線 量 率	β 放 射 能	ヨ ウ 素		
(1) 大福寺局(志賀町大福寺)	○			7月～9月 (連続) 〔環境放射線監視〕 ネットワークシステム	
(2) 大西局(志賀町大西)	○				
(3) 風無局(志賀町西海風無)	○				
(4) 熊野局(志賀町三明)	○				
(5) 福浦局(志賀町福浦港)	○	○	○		
(6) 直海局(志賀町直海)	○				
(7) 五里峠局(志賀町五里峠)	○	○	○		
(8) 赤住局(志賀町赤住)	○	○	○		
(9) 志賀局(志賀町安部屋)	○				
(10) 西岸局(七尾市中島町小牧)	○				
(11) 能登島局(七尾市能登島向田町)	○				
(12) 土川局(七尾市中島町土川)	○				
(13) 笠師保局(七尾市中島町笠師)	○				

石川県実施分

測定地点 (図1参照)	測定項目			頻度	備考
	空間 線量率	大気中 放射性物質			
	線 量 率	β 放 射 能	ヨ ウ 素		
(14) 大津局 (七尾市大津)	○			7月～9月 (連続) 〔環境放射線監視〕 ネットワークシステム	
(15) 田鶴浜局 (七尾市田鶴浜町)	○				
(16) 東湊局 (七尾市佐味町)	○				
(17) 末坂局 (中能登町末坂)	○				
(18) 能登部局 (中能登町能登部下)	○				
(19) 一ノ宮局 (羽咋市一ノ宮町)	○				
(20) 門前局 (輪島市門前町鬼屋)	○				
(21) 本郷局 (輪島市門前町二又川)	○				
(22) 大町局 (穴水町字大町)	○				
(23) 志雄局 (宝達志水町吉野屋)	○				
(24) 押水局 (宝達志水町門前)	○				

北陸電力実施分

測定地点 (図1参照)	測定項目		頻度	備考
	空間線量率	大気中放射性物質		
	線量率	大気浮遊じん		
		全β		
① MP-1 (志賀町(発電所敷地境界))	○		7月～9月	
② MP-2 ( " )	○	○	(連続)	
③ MP-3 ( " )	○		〔モニタリングポスト〕	
④ MP-4 ( " )	○			
⑤ MP-5 ( " )	○			
⑥ MP-6 ( " )	○	○		
⑦ MP-7 ( " )	○			

## (2) 環境試料の採取地点及び頻度等

## 石川県実施分

測定試料		地点数	採取地点 (図2参照)	採取月			
				機器分析	放射化学分析		
陸上試料	降下物 (雨水ちり)		2	志賀町安部屋(志賀局) 志賀町福浦港(福浦局)	毎月 (7,8,9月)		
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)		3	志賀町福浦港(福浦局) 志賀町五里峠(五里峠局) 志賀町赤住(赤住局)	連続 毎月 (7,8,9月)		
			1	志賀町三明(熊野局)	毎月 (7,8,9月)		
	大気中放射性物質 (放射性ヨウ素)		3	志賀町福浦港(福浦局) 志賀町五里峠(五里峠局) 志賀町赤住(赤住局)	毎週 (7,8,9月)		
	陸水	水道水	2	志賀町末吉 志賀町富来領家	7月	7月( <sup>3</sup> H)	
	土壌		2	志賀町若葉台 志賀町直海	8月		
	指標植物(松葉)		2	志賀町若葉台 志賀町相神	8月		
	農畜 産物	牛乳		1	志賀町西海久喜	8月	5月( <sup>90</sup> Sr)
		地域 特産物	スイカ	1	志賀町倉垣	7月	
	海洋試料	海水		3	志賀町赤住(辰田)地先 志賀町赤住(宮の先)地先 志賀町福浦港(吉良)地先	8月	8月( <sup>3</sup> H)
海底土		3	志賀町赤住(辰田)地先 志賀町赤住(宮の先)地先 志賀町福浦港(吉良)地先	8月			
指標海産物 (ホンダワラ)		4	志賀町赤住地先 志賀町百浦地先 志賀町福浦港(丹和)地先 志賀町福浦港(水之瀬)地先	8月			
海産物		ワカメ	2	志賀町赤住地先 志賀町吉良地先		5月( <sup>90</sup> Sr) 4月( <sup>90</sup> Sr)	
			2	志賀町百浦地先 志賀町吉良地先	8月	6月( <sup>90</sup> Sr) 5月( <sup>90</sup> Sr)	
		チダイ	1	富来沖	8月		
		カワハギ	1	富来沖	8月		
		メバル	1	富来沖		4月( <sup>90</sup> Sr)	

北陸電力実施分

測定試料		地点数	採取地点 (図2参照)	採取月			
				機器分析	放射化学分析		
陸 上 試 料	降下物 (雨水ちり)		2	発電所敷地内 志賀町福浦港	毎月 (7, 8, 9月)		
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)		2	発電所敷地内 (MP-2、MP-6)	連続 毎月 (7, 8, 9月)		
	陸 水	水道水	1	志賀町若葉台	7月	7月( <sup>3</sup> H)	
		河川水	1	大坪川	7月	7月( <sup>3</sup> H)	
	土 壤		2	発電所敷地内 志賀町赤住	8月	5月( <sup>90</sup> Sr)	
	指標植物(松葉)		2	発電所敷地内 志賀町赤住	8月		
	農畜 産物	牛 乳		1	志賀町西海久喜	8月	
		地域 特産物	スイカ	1	志賀町大津	7月	
海 洋 試 料	海 水		4	1号機放水口付近 2号機放水口付近 志賀町赤住(江野)地先 志賀町福浦港(丹和)地先	7月	7月( <sup>3</sup> H)	
	海 底 土		4	1号機放水口付近 2号機放水口付近 志賀町赤住(江野)地先 志賀町福浦港(丹和)地先	8月	5月( <sup>90</sup> Sr)	
	指標海産物 (ホンダワラ)		3	志賀町赤住(赤住)地先 志賀町赤住(江野)地先 志賀町福浦港(丹和)地先	8月		

## (3) 気象要素の観測地点及び頻度

## 石川県実施分

観測地点 (図1参照)	項目										頻度
	風 向	風 速	日 射 量	放 射 収 支 量	気 温	湿 度	降 水 量	積 雪 深	感 雨 雪	感 雷	
(1) 大福寺局(志賀町大福寺)	○	○					○		○		7月～9月 (連続)
(2) 大西局(志賀町大西)	○	○					○		○		
(3) 風無局(志賀町西海風無)	○	○					○		○	○	
(4) 熊野局(志賀町三明)	○	○					○		○	○	
(5) 福浦局(志賀町福浦港)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(6) 直海局(志賀町直海)	○	○					○		○	○	
(7) 五里峠局(志賀町五里峠)	○	○					○		○	○	
(8) 赤住局(志賀町赤住)	○	○					○		○	○	
(9) 志賀局(志賀町安部屋)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(10) 西岸局(七尾市中島町小牧)	○	○					○		○		
(11) 能登島局(七尾市能登島向田町)	○	○					○		○		
(12) 土川局(七尾市中島町土川)	○	○					○		○	○	
(13) 笠師保局(七尾市中島町笠師)	○	○					○		○		
(14) 大津局(七尾市大津)	○	○					○		○	○	
(15) 田鶴浜局(七尾市田鶴浜町)	○	○					○		○		
(16) 東湊局(七尾市佐味町)	○	○					○		○		
(17) 末坂局(中能登町末坂)	○	○					○		○		
(18) 能登部局(中能登町能登部下)	○	○					○		○		
(19) 一ノ宮局(羽咋市一ノ宮町)	○	○					○		○		



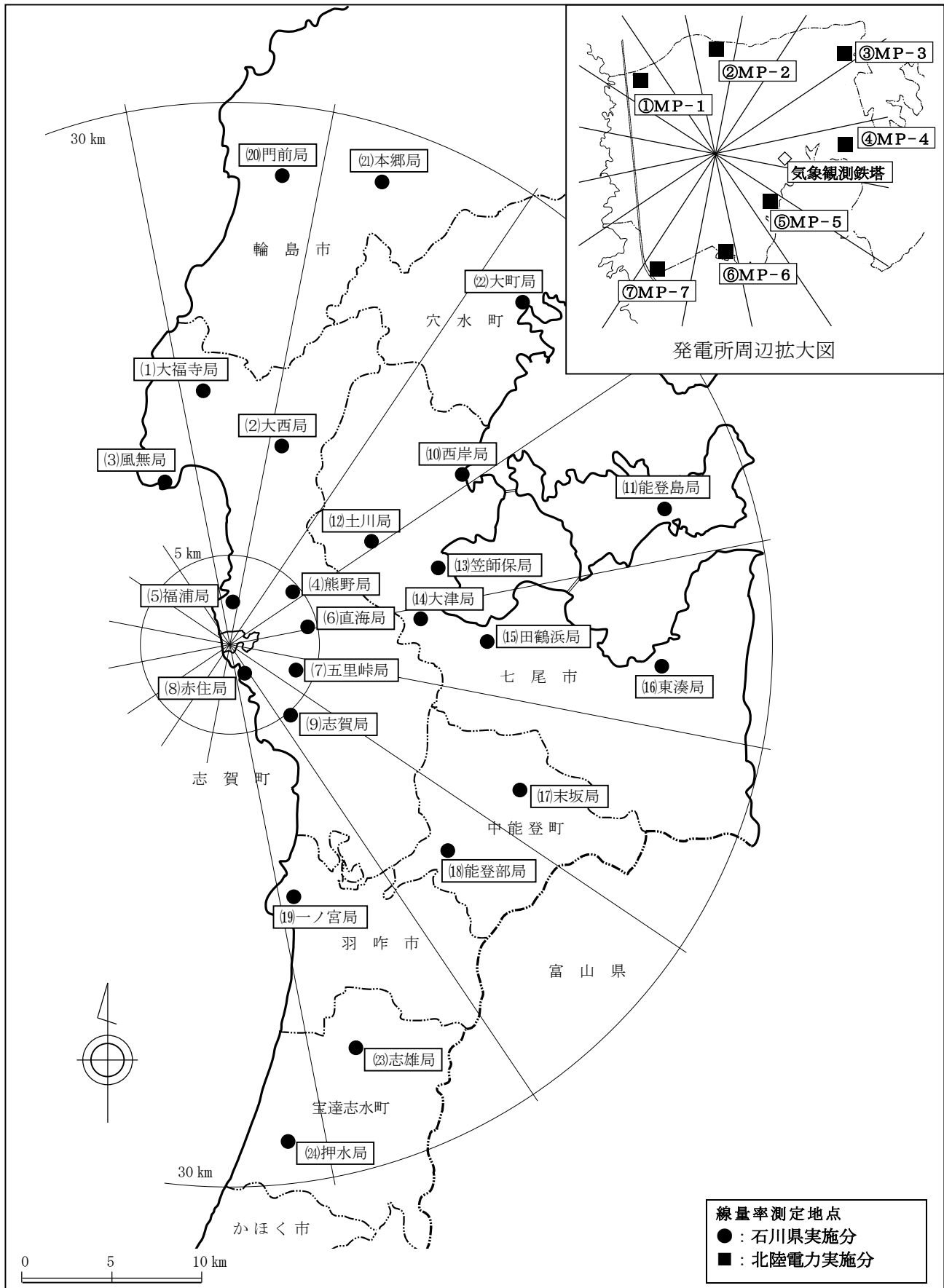
石川県実施分

観測地点 (図1参照)	項目										頻度
	風 向	風 速	日 射 量	放 射 収 支 量	気 温	湿 度	降 水 量	積 雪 深	感 雨 雪	感 雷	
(20) 門前局(輪島市門前町鬼屋)	○	○					○		○		7月～9月 (連続)
(21) 本郷局(輪島市門前町二又川)	○	○					○		○		
(22) 大町局(穴水町字大町)	○	○					○		○		
(23) 志雄局(宝達志水町吉野屋)	○	○					○		○		
(24) 押水局(宝達志水町門前)	○	○					○		○		

北陸電力実施分

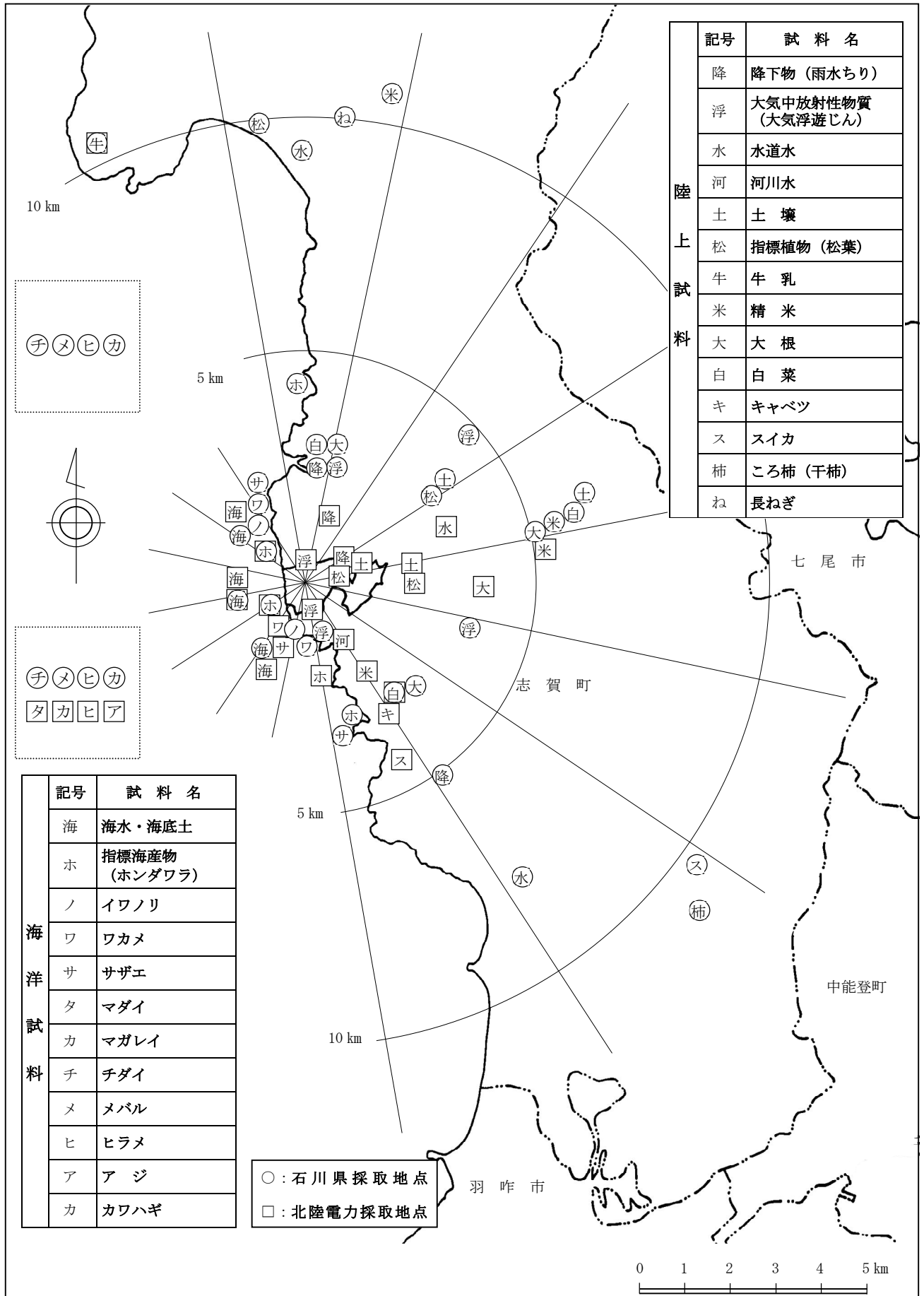
観測地点 (図1参照)	項目										頻度
	風 向	風 速	日 射 量	放 射 収 支 量	気 温	湿 度	降 水 量	積 雪 深	感 雨 雪	感 雷	
発電所敷地内 (気象観測鉄塔地点)	○	○			○		○		○		7月～9月 (連続)

図1 空間放射線測定地点図



(注) 比較対照局 (地点) を除く。

図2 環境試料採取地点図（年度分）



（注）比較対照地点を除く。



### 3 監視結果

#### 3.1 空間放射線

##### (1) 線量率

石川県実施分（24局）及び北陸電力実施分（7局）における線量率の測定結果の概要は表1のとおりであった。

過去の平常の変動の上限値（平均値+標準偏差（ $\sigma$ ）の3倍）を超えたものは、いずれも降雨等の自然条件の変化によるもの（資料編P21～P26の表、P34～P38の図参照）であった。

表1 線量率の測定結果

石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4～R6.3)		平均値+3 $\sigma$ を超えた数,率		
				測定値範囲	平均値+3 $\sigma$	数	率(%)	
志賀町	(1) 大福寺局	68.8	39.1	43.1	28.7 ~ 118.2	55.9	51	0.4
	(2) 大西局	81.4	38.4	43.0	29.9 ~ 118.2	58.8	52	0.4
	(3) 風無局	84.9	47.0	50.0	36.5 ~ 103.6	61.8	91	0.7
	(4) 熊野局	74.1	44.2	48.5	34.9 ~ 130.9	61.8	63	0.5
	(5) 福浦局	68.2	39.8	43.2	31.6 ~ 128.9	57.3	60	0.5
	(6) 直海局	83.0	47.5	51.9	38.4 ~ 117.1	65.7	58	0.4
	(7) 五里峠局	94.9	54.6	57.0	43.1 ~ 117.2	72.0	92	0.7
	(8) 赤住局	74.6	48.1	51.5	41.0 ~ 118.5	63.8	58	0.4
	(9) 志賀局	101.2	46.3	51.4	33.9 ~ 117.3	67.2	76	0.6
七尾市	(10) 西岸局	76.6	37.5	40.1	29.8 ~ 103.0	54.1	88	0.7
	(11) 能登島局	73.6	42.8	46.1	32.4 ~ 119.1	62.5	46	0.3
	(12) 土川局	81.2	41.9	44.8	31.4 ~ 109.9	59.6	91	0.7
	(13) 笠師保局	73.3	35.4	39.7	28.6 ~ 121.8	55.0	62	0.5
	(14) 大津局	68.0	40.4	43.8	34.5 ~ 113.5	58.5	36	0.3
	(15) 田鶴浜局	90.5	44.6	47.7	36.8 ~ 139.1	63.4	77	0.6
	(16) 東湊局	75.4	43.9	47.6	34.4 ~ 111.1	61.8	78	0.6

(注) 1) 各測定地点の線量率測定結果に差が見られるが、これは、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いによるものである。

2) 測定器の位置

石川県実施分：鉄柱上（地上1.8m）

表1 線量率の測定結果（つづき）

石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値+3σ を超えた数,率		
				測定値範囲	平均値+3σ	数	率(%)	
中能登町	(17)末坂局	90.6	46.9	51.2	30.6 ~ 113.8	67.3	70	0.5
	(18)能登部局	78.4	54.4	57.8	40.9 ~ 116.5	71.9	39	0.3
羽咋市	(19)一ノ宮局	97.8	41.5	45.4	34.2 ~ 144.4	60.5	89	0.7
輪島市	(20)門前局	82.0	37.8	41.8	26.2 ~ 127.2	57.4	104	0.8
	(21)本郷局	73.1	36.7	40.2	23.0 ~ 132.1	57.5	92	0.7
穴水町	(22)大町局	71.3	40.1	44.3	29.6 ~ 111.2	60.0	53	0.4
宝達志水町	(23)志雄局	83.9	42.0	46.1	28.6 ~ 112.2	63.5	50	0.4
	(24)押水局	90.2	50.9	55.2	38.8 ~ 120.3	71.7	45	0.3

北陸電力実施分

単位：nGy/h

測定地点	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値+3σ を超えた数,率	
				測定値範囲	平均値+3σ	数	率(%)
① MP-1	59.3	23.9	26.6	19.9 ~ 110	42.4	61	0.5
② MP-2	67.1	29.3	33.5	24.0 ~ 117	49.0	69	0.5
③ MP-3	63.1	26.1	29.0	21.4 ~ 115	44.2	68	0.5
④ MP-4	67.7	31.7	35.4	26.3 ~ 111	50.0	65	0.5
⑤ MP-5	60.7	24.7	27.9	20.7 ~ 110	44.1	47	0.5
⑥ MP-6	68.5	33.5	36.5	26.5 ~ 125	53.3	56	0.4
⑦ MP-7	58.4	23.9	27.1	20.3 ~ 118	42.7	43	0.4

(注) 1) 各測定地点の線量率測定結果に差が見られるが、これは、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いによるものである。

2) 測定器の位置

石川県実施分：鉄柱上（地上1.8m） 北陸電力実施分：鉄骨造建物屋上（地上4m）

### 3. 2 環境試料中の放射能

#### (1) 大気中放射性物質

##### ① 大気浮遊じん

##### 1) 施設起因全β放射能濃度推定値（β放射能）

β放射能の結果は表2のとおりであり、確認開始設定値（5 Bq/m<sup>3</sup>）を超えたものはなかった。

表2 β放射能の結果

単位：Bq/m<sup>3</sup>

測定地点	測定回数	最高値	施設起因の確認開始設定値(5 Bq/m <sup>3</sup> )を超えた数	過去の測定結果(R3.4~R6.3)
福浦局	2200	2.8	0	—
五里峠局	2190	2.3	0	—
赤住局	2200	4.9	0	—

(注) 測定値は、捕集開始から1時間毎の瞬時値である。

##### 2) 全β放射能

全β放射能の測定結果は表3のとおりであり、いずれも過去の測定値と同程度であった。

表3 全β放射能の測定結果

単位：Bq/m<sup>3</sup>

測定地点	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果(R3.4~R6.3)
MP-2	9.0	0.17	2.4	0.07 ~ 11
MP-6	11	0.11	2.6	0.06 ~ 12

##### ② 放射性ヨウ素

大気中の放射性ヨウ素の測定結果は表4のとおりであり、全て検出下限値未満であった。

表4 放射性ヨウ素の測定結果

単位：Bq/m<sup>3</sup>

測定地点	捕集期間	測定回数	空気吸引量(m <sup>3</sup> /回)	測定値	過去の測定結果(R3.4~R6.3)
福浦局	R6. 6.24 ~ R6. 9.30	14	518 ~ 525	ND	ND
五里峠局	R6. 6.24 ~ R6. 9.30	14	511 ~ 517	ND	ND
赤住局	R6. 6.24 ~ R6. 9.30	11	494 ~ 510	ND	ND

(注) 「ND」は検出下限値未満である。

1回の捕集時間は、月曜日9時から翌週月曜日9時までの1週間である。  
測定値は、捕集終了から3時間経過後に10分間測定した値である。

(2) 核種分析（機器分析）

環境試料について、測定された人工放射性核種の濃度は表5のとおりであった。

陸上試料の土壌、海洋試料の海水から人工放射性核種のセシウム-137が検出されたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値であった。

表5 核種分析（機器分析）結果

測定試料		単位	地点数	検体数	検出された核種・測定値	過去の測定結果*1			
						H2.7 ～H23.2	H23.3 ～H28.3*2	H28.4 ～R6.3	
陸上試料	降下物 (雨水ちり)	Bq/m <sup>2</sup> ・月	4	12	LTD	<sup>137</sup> Cs LTD ～0.28	<sup>134</sup> Cs LTD ～30*3 <sup>137</sup> Cs LTD ～30*3	<sup>137</sup> Cs LTD ～0.22	
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	mBq/m <sup>3</sup>	6	21	LTD	LTD	<sup>134</sup> Cs LTD ～0.61*3 <sup>137</sup> Cs LTD ～0.54*3	LTD	
	陸水	水道水	mBq/L	3	3	LTD	LTD	LTD	LTD
		河川水		1	1	LTD	LTD	LTD	LTD
	土壌	Bq/kg 乾土	4	6	<sup>137</sup> Cs LTD～42	<sup>137</sup> Cs LTD ～130	<sup>137</sup> Cs 40 ～65	<sup>137</sup> Cs 26 ～52	
	指標植物(松葉)	Bq/kg 生	4	4	LTD	<sup>137</sup> Cs LTD ～1.1	<sup>134</sup> Cs LTD ～2.9*3 <sup>137</sup> Cs LTD ～3.0*3	LTD	
	農畜産物	牛乳	Bq/L	2	2	LTD	LTD	LTD	LTD
地域特産物 スイカ		Bq/kg 生	2	2	LTD	LTD	LTD	LTD	
海洋試料	海水	mBq/L	7	7	<sup>137</sup> Cs LTD～2.0	<sup>137</sup> Cs LTD ～4.3	<sup>137</sup> Cs LTD ～2.7	<sup>137</sup> Cs LTD ～2.5	
	海底土	Bq/kg 乾土	7	7	LTD	LTD	LTD	LTD	
	指標海産物 (ホンダワラ)	Bq/kg 生	7	7	LTD	<sup>131</sup> I LTD ～0.21 <sup>137</sup> Cs LTD ～0.30	<sup>131</sup> I LTD ～3.2*3	LTD	
	海産物		サザエ	2	4	LTD	<sup>137</sup> Cs LTD ～0.22	LTD	LTD
			チダイ	1	1	LTD	LTD	LTD	LTD
カワハギ			1	1	LTD	—*4	—*4	—*4	

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

\*1：過去の測定結果は、調査開始以降の全ての地点の範囲

\*2：福島第一原子力発電所の事故影響であると推定される測定値を含む期間

\*3：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

\*4：令和6年度より測定開始

測定機関は資料編参照



(3) 核種分析（放射化学分析）

環境試料中の放射性ストロンチウムの濃度は表6、トリチウムの濃度は表7のとおりであった。

陸上試料の土壌から放射性ストロンチウムが検出されたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値であった。

表6 核種分析（放射化学分析：放射性ストロンチウム）結果

測定試料		単位	地点数	検体数	測定値 ( <sup>90</sup> Sr)	過去の測定結果		
						H2.7 ~H23.2	H23.3 ~H28.3*	H28.4 ~R6.3
陸上試料	土壌	Bq/kg 乾土	2	2	0.5、1.4	1.1 ~3.5	0.8 ~3.9	0.4 ~2.9
	農畜産物 牛乳	Bq/L	1	1	LTD	LTD ~0.039	LTD ~0.024	LTD
海洋試料	海底土	Bq/kg 乾土	4	4	LTD	LTD	LTD	LTD
	ワカメ	Bq/kg 生	2	2	LTD	LTD	LTD	LTD
	サザエ		2	4	LTD	LTD	LTD	LTD
	メバル		1	1	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

\*：福島第一原子力発電所の事故影響であると推測される測定値を含む期間  
測定機関は資料編参照

表7 核種分析（放射化学分析：トリチウム）結果

測定試料		単位	地点数	検体数	測定値 ( <sup>3</sup> H)	過去の測定結果		
						H2.7 ~H23.2	H23.3 ~H28.3*	H28.4 ~R6.3
陸上試料	陸水	水道水	3	3	LTD	LTD ~1.9	LTD	LTD
		河川水						
海洋試料	海水	Bq/L	7	7	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

\*：福島第一原子力発電所の事故影響であると推測される測定値を含む期間  
測定機関は資料編参照



## 資 料 編

1	空間放射線	21
(1)	線量率	21
2	環境試料中の放射能	39
(1)	大気中放射性物質	39
a	大気浮遊じん ( $\beta$ 放射能)の変動状況	39
b	大気浮遊じん (全 $\beta$ 放射能)	40
c	放射性ヨウ素	40
(2)	核種分析 (機器分析)	41
a	降下物 (雨水ちり)	41
b	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	42
c	陸水	43
d	土壌	43
e	指標植物 (松葉)	43
f	農畜産物	44
g	海水	44
h	海底土	45
i	指標海産物 (ホンダワラ)	45
j	海産物	46
k	放射性ヨウ素	47
(3)	核種分析 (放射化学分析)	48
a	放射性ストロンチウム	48
b	トリチウム	48
3	気象要素	49
	風向・風速	49



1 空間放射線

(1) 線量率  
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び比率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)			
(1)大福寺局	6年 7月	4464	59.3	39.1	42.0			8	0.2	8	0	0.00
	8月	4464	53.2	41.3	44.3	28.7 ~ 118.2	55.9	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	68.8	40.1	42.9		( 平均値 43.1 ) 標準偏差 4.3	43	1.0	43	0	0.00
	期 間	13248	68.8	39.1	43.1			51	0.4	51	0	0.00
(2)大西局	6年 7月	4464	63.9	38.4	42.8			14	0.3	14	0	0.00
	8月	4464	54.6	39.4	43.1	29.9 ~ 118.2	58.8	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	81.4	39.6	43.0		( 平均値 43.7 ) 標準偏差 5.0	38	0.9	38	0	0.00
	期 間	13248	81.4	38.4	43.0			52	0.4	52	0	0.00
(3)風無局	6年 7月	4449	70.9	47.0	49.6			47	1.1	47	0	0.34
	8月	4464	60.5	47.8	50.5	36.5 ~ 103.6	61.8	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	84.9	47.7	49.8		( 平均値 49.6 ) 標準偏差 4.1	44	1.0	44	0	0.00
	期 間	13233	84.9	47.0	50.0			91	0.7	91	0	0.11
(4)熊野局	6年 7月	4454	65.5	44.2	47.4			14	0.3	14	0	0.22
	8月	4464	60.5	46.2	49.4	34.9 ~ 130.9	61.8	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	74.1	46.2	48.7		( 平均値 47.7 ) 標準偏差 4.7	49	1.1	49	0	0.00
	期 間	13238	74.1	44.2	48.5			63	0.5	63	0	0.08
(5)福浦局	6年 7月	4454	67.8	39.8	42.4			25	0.6	25	0	0.22
	8月	4464	56.1	41.2	44.2	31.6 ~ 128.9	57.3	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	68.2	40.4	43.1		( 平均値 43.4 ) 標準偏差 4.6	35	0.8	35	0	0.00
	期 間	13238	68.2	39.8	43.2			60	0.5	60	0	0.08
(6)直海局	6年 7月	4450	69.9	47.5	51.4			18	0.4	18	0	0.31
	8月	4464	63.8	48.4	52.3	38.4 ~ 117.1	65.7	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	83.0	48.0	52.1		( 平均値 51.7 ) 標準偏差 4.6	40	0.9	40	0	0.00
	期 間	13234	83.0	47.5	51.9			58	0.4	58	0	0.11

(注) 測定器の位置：鉄柱上(地上1.8m)

(1) 線量率 (つづき)  
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)			
(7) 五里峠局	6年 7月	4449	82.0	54.6	56.9	43.1 ~ 117.2	72.0 (平均値 57.3) 標準偏差 4.9	39	0.9	39	0	0.34
	8月	4464	67.6	55.3	57.0			0	0.0	0	0.00	
	9月	4320	94.9	55.0	57.2			53	1.2	53	0	0.00
志賀町	期 間	13233	94.9	54.6	57.0	41.0 ~ 118.5	63.8 (平均値 52.0) 標準偏差 3.9	92	0.7	92	0	0.11
	6年 7月	4443	68.5	48.1	51.0			23	0.5	23	0	0.47
	8月	4464	62.0	49.8	52.3			0	0.0	0	0.00	
(8) 赤住局	9月	4320	74.6	49.1	51.3	33.9 ~ 117.3	67.2 (平均値 50.7) 標準偏差 5.5	35	0.8	35	0	0.00
	期 間	13227	74.6	48.1	51.5			58	0.4	58	0	0.16
	6年 7月	4452	73.0	46.3	50.0			19	0.4	19	0	0.27
(9) 志賀局	8月	4464	65.3	48.9	52.8	29.8 ~ 103.0	54.1 (平均値 40.8) 標準偏差 4.4	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	101.2	47.2	51.4			57	1.3	57	0	0.00
	期 間	13236	101.2	46.3	51.4			76	0.6	76	0	0.09
(10) 西岸局	6年 7月	4464	60.2	37.5	39.9	32.4 ~ 119.1	62.5 (平均値 47.2) 標準偏差 5.1	33	0.7	33	0	0.00
	8月	4464	71.9	38.2	40.3			17	0.4	17	0	0.00
	9月	4320	76.6	37.9	40.0			38	0.9	38	0	0.00
七尾市	期 間	13248	76.6	37.5	40.1	31.4 ~ 109.9	59.6 (平均値 44.7) 標準偏差 5.0	88	0.7	88	0	0.00
	6年 7月	4464	66.0	42.8	45.7			18	0.4	18	0	0.00
	8月	4464	59.7	44.1	46.5			0	0.0	0	0	0.00
(11) 能登島局	9月	4320	73.6	43.5	46.1	43.1 ~ 117.2	72.0 (平均値 57.3) 標準偏差 4.9	28	0.6	28	0	0.00
	期 間	13248	73.6	42.8	46.1			46	0.3	46	0	0.00
	6年 7月	4452	65.8	41.9	44.5			35	0.8	35	0	0.27
(12) 土川局	8月	4464	81.2	42.5	45.3	31.4 ~ 109.9	59.6 (平均値 44.7) 標準偏差 5.0	14	0.3	14	0	0.00
	9月	4320	73.8	42.2	44.8			42	1.0	42	0	0.00
	期 間	13236	81.2	41.9	44.8			91	0.7	91	0	0.09

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.8m)

(1) 線量率 (つづき)  
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)			
(13) 笠師保局	6年 7月	4464	58.6	35.4	38.9	28.6 ~ 121.8	55.0 (平均値 40.1 標準偏差 5.0)	10	0.2	10	0	0.00
	8月	4464	68.8	37.4	40.8			12	0.3	12	0	0.00
	9月	4320	73.3	36.0	39.3			40	0.9	40	0	0.00
	期 間	13248	73.3	35.4	39.7			62	0.5	62	0	0.00
	6年 7月	4452	59.0	40.5	43.0			2	0.0	2	0	0.27
	8月	4464	59.1	42.1	44.3			2	0.0	2	0	0.00
(14) 大津局	9月	4320	68.0	40.4	43.9	34.5 ~ 113.5	58.5 (平均値 45.1 標準偏差 4.5)	32	0.7	32	0	0.00
	期 間	13236	68.0	40.4	43.8			36	0.3	36	0	0.09
	6年 7月	4464	67.9	44.6	47.4			18	0.4	18	0	0.00
	8月	4464	82.2	45.3	47.8			17	0.4	17	0	0.00
	9月	4320	90.5	44.9	47.8			42	1.0	42	0	0.00
	期 間	13248	90.5	44.6	47.7			77	0.6	77	0	0.00
(15) 田鶴浜局	6年 7月	4464	70.6	43.9	47.0	36.8 ~ 139.1	63.4 (平均値 48.5 標準偏差 5.0)	18	0.4	18	0	0.00
	8月	4464	72.2	45.1	48.1			10	0.2	10	0	0.00
	9月	4320	75.4	44.6	47.6			50	1.2	50	0	0.00
	期 間	13248	75.4	43.9	47.6			78	0.6	78	0	0.00
	6年 7月	4464	77.5	46.9	50.4			19	0.4	19	0	0.00
	8月	4445	90.6	47.9	52.2			23	0.5	23	0	0.43*
(16) 東湊局	9月	4320	75.8	47.7	51.1	34.4 ~ 111.1	61.8 (平均値 48.4 標準偏差 4.5)	28	0.6	28	0	0.00
	期 間	13229	90.6	46.9	51.2			70	0.5	70	0	0.14
	6年 7月	4464	76.3	54.4	57.2			13	0.3	13	0	0.00
	8月	4464	77.3	55.7	58.3			9	0.2	9	0	0.00
	9月	4320	78.4	54.5	57.7			17	0.4	17	0	0.00
	期 間	13248	78.4	54.4	57.8			39	0.3	39	0	0.00
(17) 末坂局	6年 7月	4464	76.3	54.4	57.2	30.6 ~ 113.8	67.3 (平均値 51.8 標準偏差 5.2)	13	0.3	13	0	0.00
	8月	4464	77.3	55.7	58.3			9	0.2	9	0	0.00
	9月	4320	78.4	54.5	57.7			17	0.4	17	0	0.00
	期 間	13229	90.6	46.9	51.2			70	0.5	70	0	0.14
	6年 7月	4464	76.3	54.4	57.2			13	0.3	13	0	0.00
	8月	4464	77.3	55.7	58.3			9	0.2	9	0	0.00
(18) 能登部局	9月	4320	78.4	54.5	57.7	40.9 ~ 116.5	71.9 (平均値 58.3 標準偏差 4.6)	17	0.4	17	0	0.00
	期 間	13248	78.4	54.4	57.8			39	0.3	39	0	0.00

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.8m)

\*：レントゲン検診の影響による欠測(8月19日：18個、8月20日：1個)

(1) 線量率 (つづき)  
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4～R6.3)		平均値 + 標準偏差 × 3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 + 標準偏差 × 3	数	率 (%)			降雨等
羽咋市 (19) 一ノ宮局	6年 7月	4464	72.3	41.5	44.6	34.2 ~ 144.4	平均値 60.5 ( 平均値 45.6 ) 標準偏差 5.0	39	0.9	39	0	0.00
	8月	4464	66.6	43.0	46.5			14	0.3	14	0	0.00
	9月	4320	97.8	42.0	45.2			36	0.8	36	0	0.00
	期 間	13248	97.8	41.5	45.4			89	0.7	89	0	0.00
輪島市 (20) 門前局	6年 7月	4432	70.4	37.8	41.4	26.2 ~ 127.2	平均値 57.4 ( 平均値 42.0 ) 標準偏差 5.1	54	1.2	54	0	0.72
	8月	4464	82.0	38.8	42.4			18	0.4	18	0	0.00
	9月	4320	71.0	38.5	41.6			32	0.7	32	0	0.00
	期 間	13216	82.0	37.8	41.8			104	0.8	104	0	0.24
穴水町 (22) 大町局	6年 7月	4464	73.1	36.7	39.7	23.0 ~ 132.1	平均値 57.5 ( 平均値 39.8 ) 標準偏差 5.9	47	1.1	47	0	0.00
	8月	4464	58.6	37.5	40.7			2	0.0	2	0	0.00
	9月	4320	65.8	36.9	40.1			43	1.0	43	0	0.00
	期 間	13248	73.1	36.7	40.2			92	0.7	92	0	0.00
宝達志水町 (23) 志雄局	6年 7月	4464	71.3	40.1	44.4	29.6 ~ 111.2	平均値 60.0 ( 平均値 45.1 ) 標準偏差 5.0	27	0.6	27	0	0.00
	8月	4464	59.3	40.6	44.2			0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	68.5	40.1	44.3			26	0.6	26	0	0.00
	期 間	13248	71.3	40.1	44.3			53	0.4	53	0	0.00
(24) 押水局	6年 7月	4464	69.1	42.0	45.4	28.6 ~ 112.2	平均値 63.5 ( 平均値 46.9 ) 標準偏差 5.5	15	0.3	15	0	0.00
	8月	4464	76.0	43.9	46.8			10	0.2	10	0	0.00
	9月	4320	83.9	43.2	46.1			25	0.6	25	0	0.00
	期 間	13248	83.9	42.0	46.1			50	0.4	50	0	0.00
(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.8m)	6年 7月	4464	75.2	50.9	54.7	38.8 ~ 120.3	平均値 71.7 ( 平均値 56.2 ) 標準偏差 5.2	11	0.2	11	0	0.00
	8月	4464	71.5	52.8	55.8			0	0.0	0	0	0.00
	9月	4320	90.2	52.2	55.1			34	0.8	34	0	0.00
	期 間	13248	90.2	50.9	55.2			45	0.3	45	0	0.00



(1) 線量率 (つづき)  
石川県実地分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)			
能美市 辰口局* (比較対象局)	6年 7月	4461	76.1	36.0	39.2	—*	—*	—*	—*	降雨等 感雨雪計の 設置なし	0.07	
	8月	4460	70.0	37.4	40.4			—*	—*		0.09	
	9月	4320	70.7	37.3	40.2			( 平均値 —* ) 標準偏差 —* )	—*		—*	0.00
	期 間	13241	76.1	36.0	39.9			—*	—*		—*	0.05

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.0m)

\*：令和6年3月の検出器更新に伴い、設置位置等を変更したため、「過去の測定結果」については「—」とした。更新前の測定値範囲(令和3年4月～令和6年3月)は30.6～95.1nGy/h

(1) 線量率 (つづき)  
北陸電力実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4～R6.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び比率		原因	欠測率 (%)	
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)			
① MP-1	6年 7月	4464	50.6	23.9	26.3	19.9 ~ 110	42.4 (平均値 27.7) 標準偏差 4.9	21	0.5	21	0	0.00
	8月	4464	40.4	24.6	26.8			0	0.0	0	0.00	
	9月	4317	59.3	24.6	26.8			40	0.9	40	0	0.07
② MP-2	期 間	13245	59.3	23.9	26.6	24.0 ~ 117	49.0 (平均値 34.3) 標準偏差 4.9	61	0.5	61	0	0.02
	6年 7月	4447	58.5	29.3	32.6			24	0.5	24	0	0.38
	8月	4464	48.0	30.3	33.8			0	0.0	0	0	0.00
③ MP-3	9月	3795	67.1	30.5	34.2	21.4 ~ 115	44.2 (平均値 29.8) 標準偏差 4.8	45	1.2	45	0	12.15*1
	期 間	12706	67.1	29.3	33.5			69	0.5	69	0	4.09
	6年 7月	4464	53.1	26.1	28.6			25	0.6	25	0	0.00
④ MP-4	8月	4464	42.8	27.1	29.2	26.3 ~ 111	50.0 (平均値 35.8) 標準偏差 4.7	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4318	63.1	27.0	29.4			43	1.0	43	0	0.05
	期 間	13246	63.1	26.1	29.0			68	0.5	68	0	0.02
⑤ MP-5	6年 7月	4434	59.4	31.7	34.5	20.7 ~ 110	44.1 (平均値 29.2) 標準偏差 5.0	22	0.5	22	0	0.67
	8月	4464	49.4	32.5	35.7			0	0.0	0	0	0.00
	9月	4318	67.7	32.6	35.9			43	1.0	43	0	0.05
⑥ MP-6	期 間	13216	67.7	31.7	35.4	26.5 ~ 125	53.3 (平均値 37.7) 標準偏差 5.2	65	0.5	65	0	0.24
	6年 7月	4464	52.2	24.7	27.5			24	0.5	24	0	0.00
	8月	4464	42.6	25.6	28.1			0	0.0	0	0	0.00
⑦ MP-7	9月	1204	60.7	26.8	29.0	20.3 ~ 118	42.7 (平均値 28.4) 標準偏差 4.8	23	1.9	23	0	72.13*2
	期 間	10132	60.7	24.7	27.9			47	0.5	47	0	23.52
	6年 7月	4419	60.8	33.5	36.0			20	0.5	20	0	1.01
⑧ MP-8	8月	4464	52.0	34.2	36.8	20.3 ~ 118	42.7 (平均値 28.4) 標準偏差 4.8	0	0.0	0	0	0.00
	9月	4319	68.5	33.6	36.7			36	0.8	36	0	0.02
	期 間	13202	68.5	33.5	36.5			56	0.4	56	0	0.35
⑨ MP-9	6年 7月	4452	50.7	23.9	26.9	20.3 ~ 118	42.7 (平均値 28.4) 標準偏差 4.8	21	0.5	21	0	0.27
	8月	4464	41.3	25.2	27.2			0	0.0	0	0	0.00
	9月	2497	58.4	25.4	27.4			22	0.9	22	0	42.20*3
期 間	11413	58.4	23.9	27.1	43	0.4	43	0	13.85			

(注) 測定器の位置：鉄骨建物屋上 (地上4m)

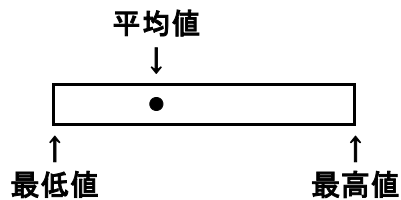
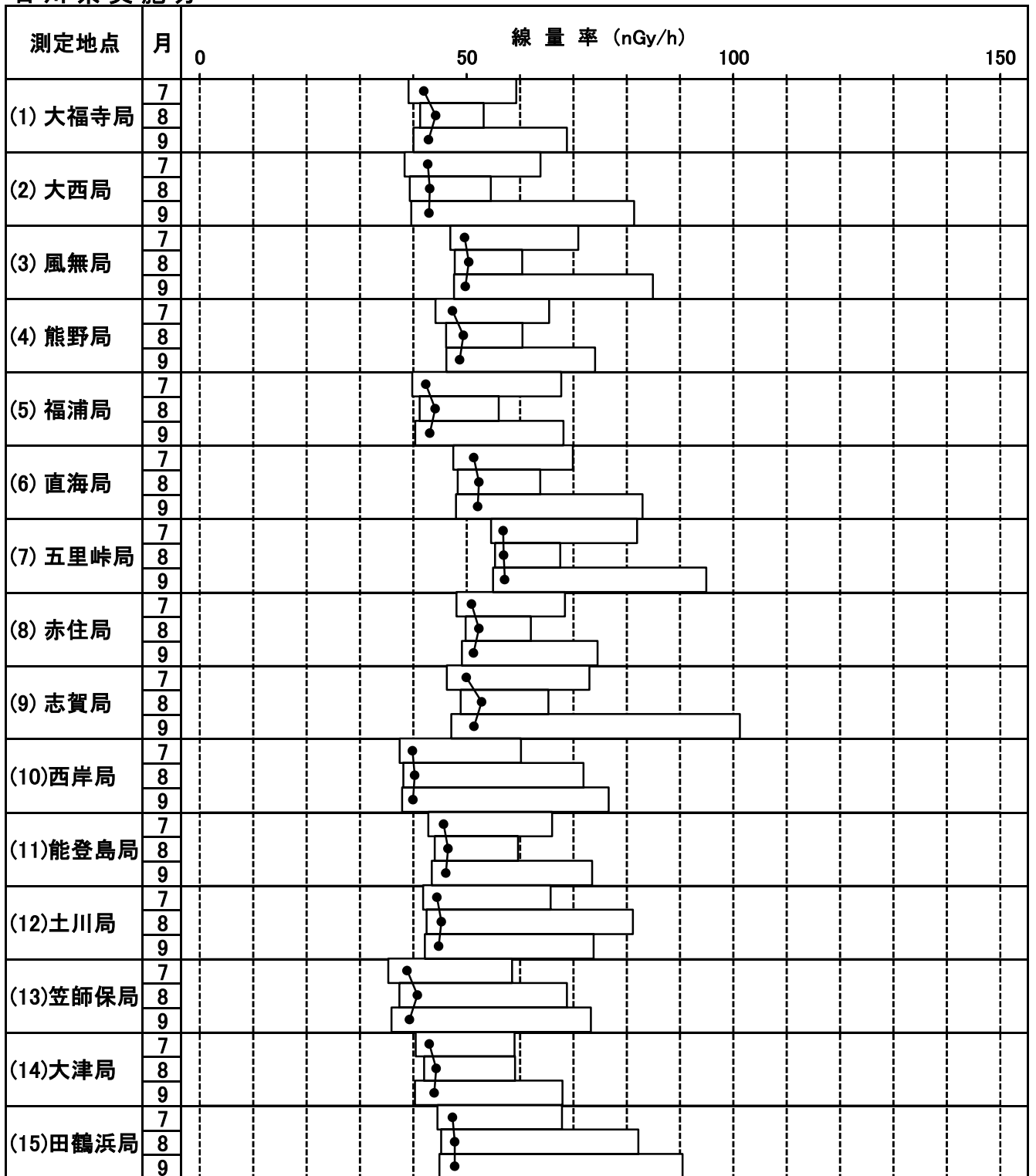
\*1：モニタリングポスト取替工事に伴う欠測 (9月27日～9月30日：525個)

\*2：モニタリングポスト取替工事に伴う欠測 (9月9日～9月30日：3,116個)

\*3：モニタリングポスト取替工事に伴う欠測 (9月18日～9月30日：1,823個)

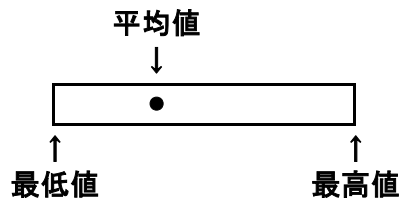
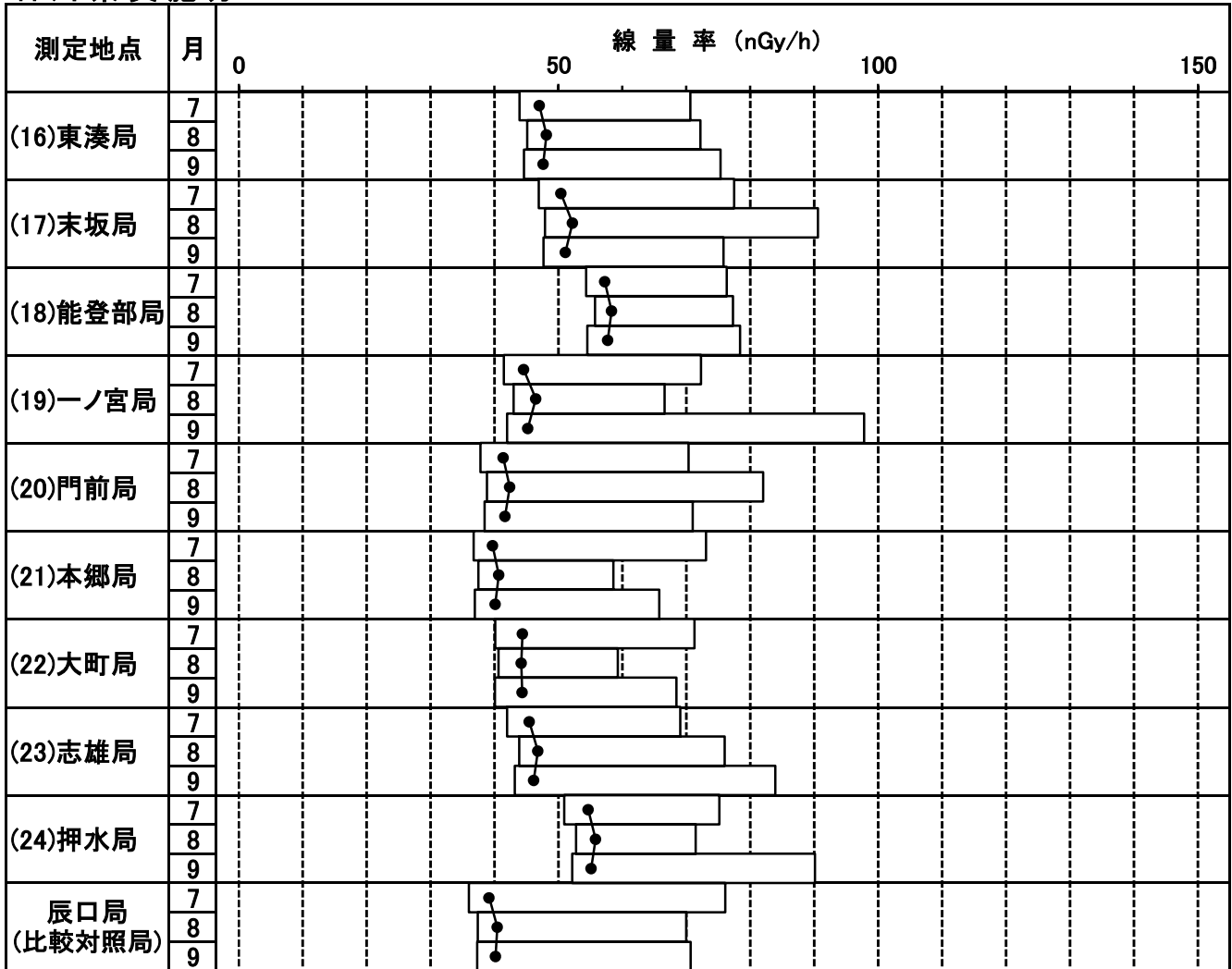
# 線量率の変動状況

## 石川県実施分



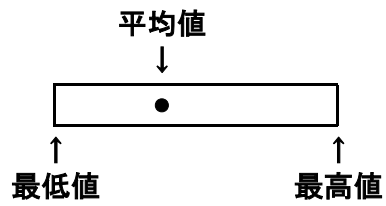
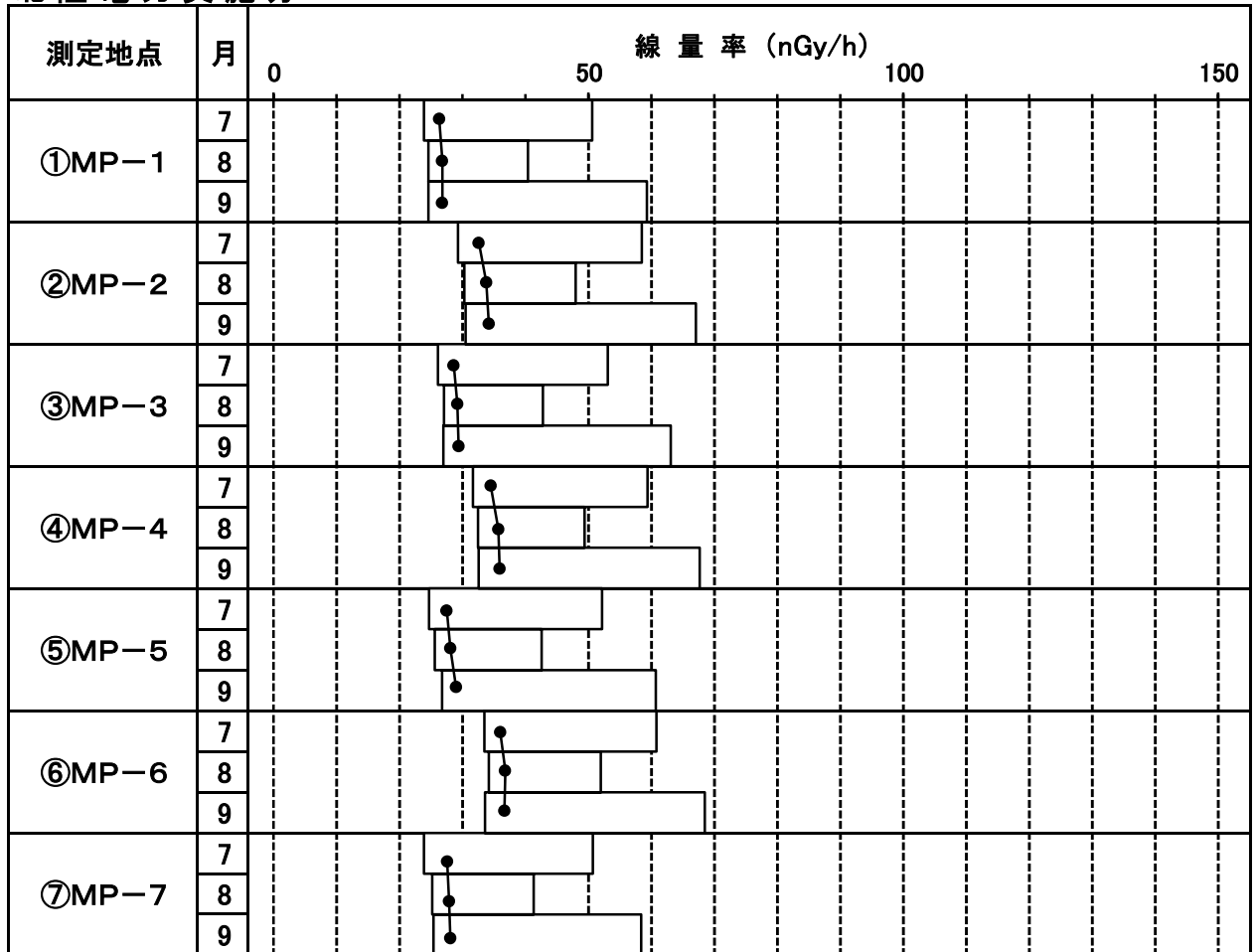
# 線量率の変動状況

## 石川県実施分

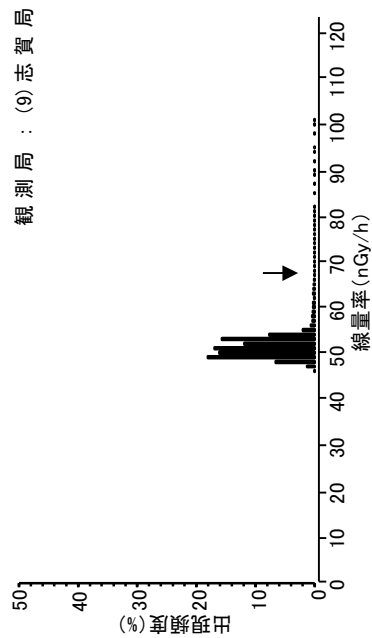
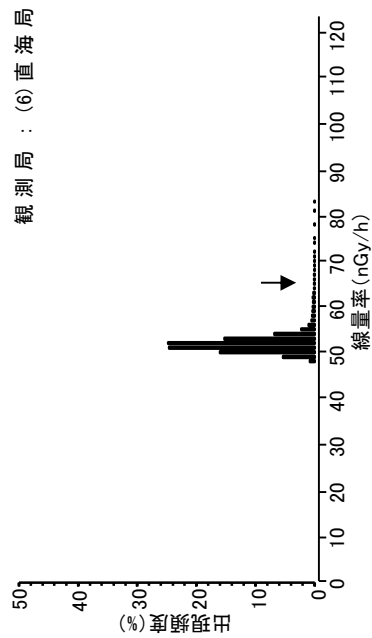
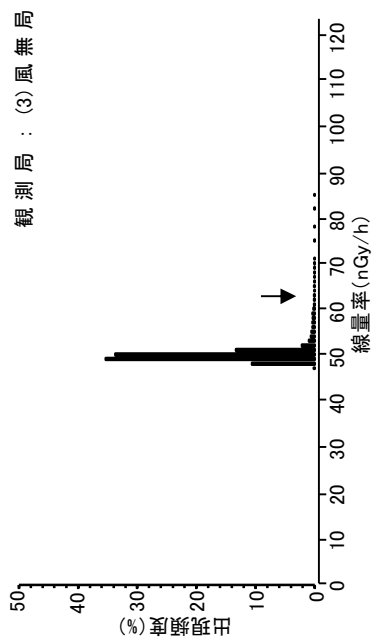
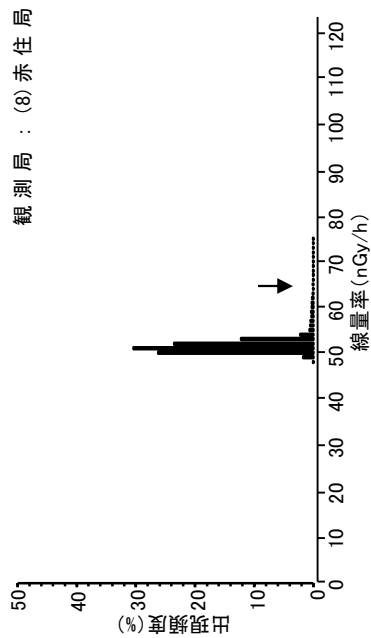
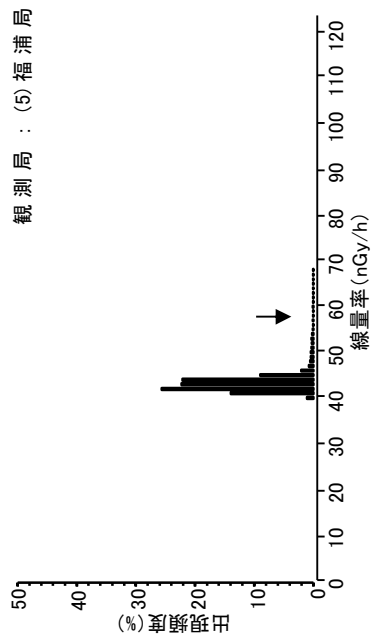
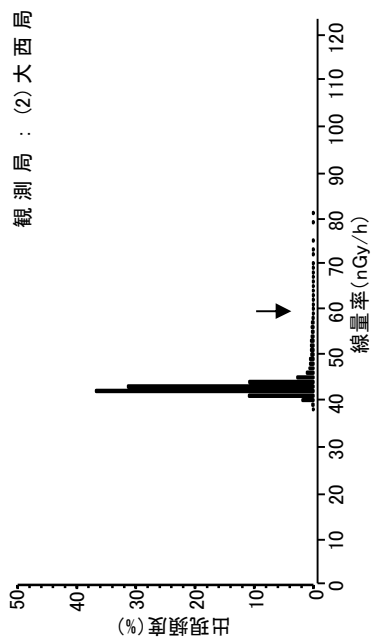
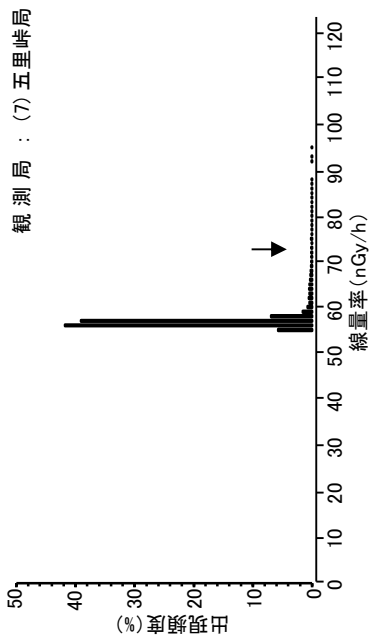
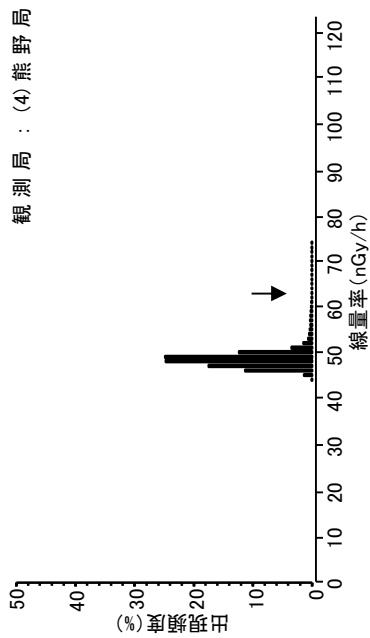
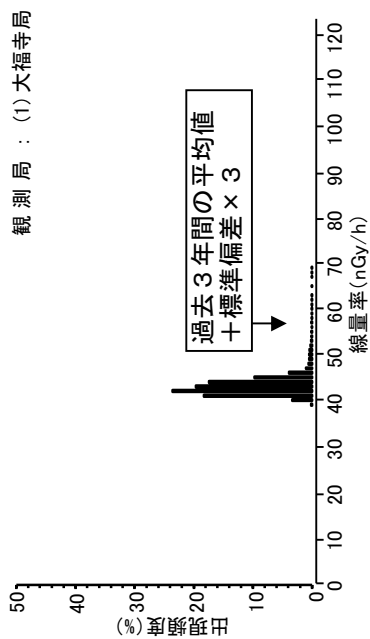


# 線量率の変動状況

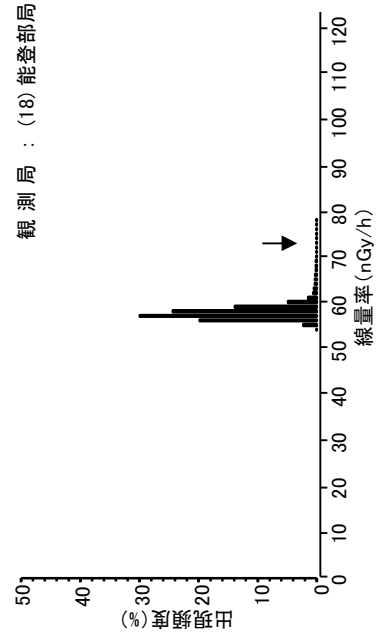
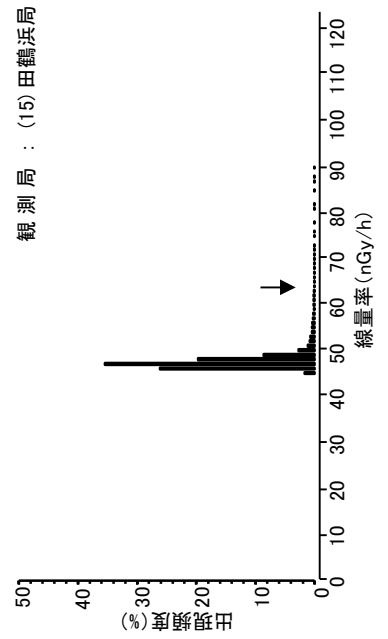
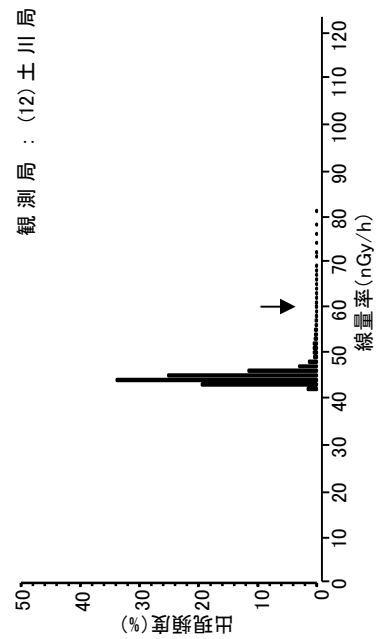
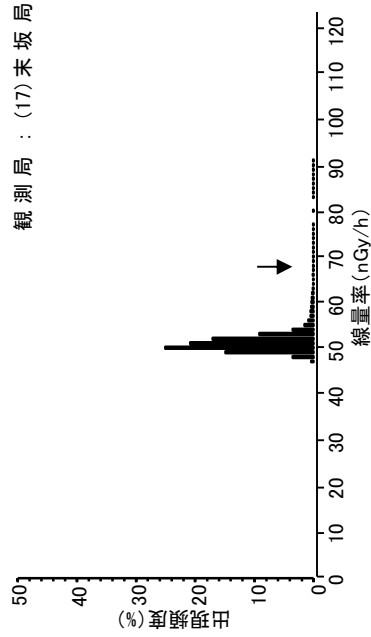
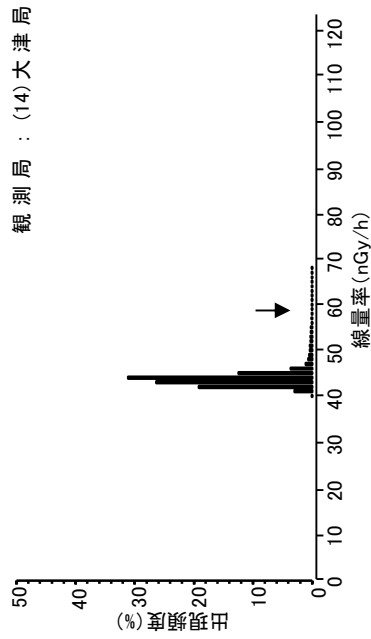
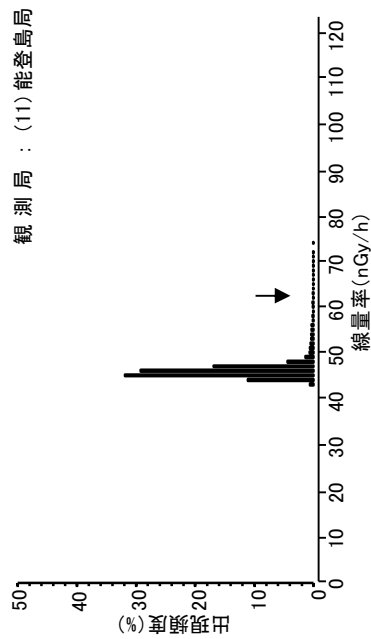
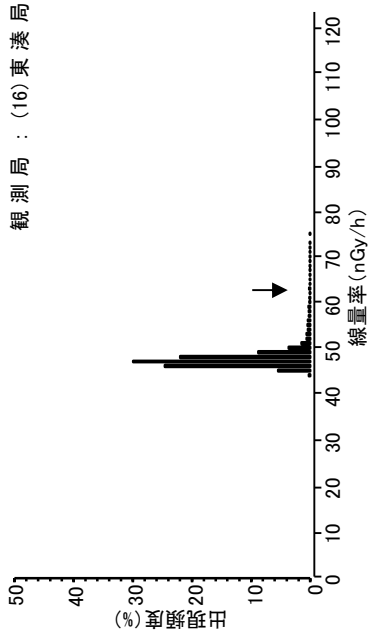
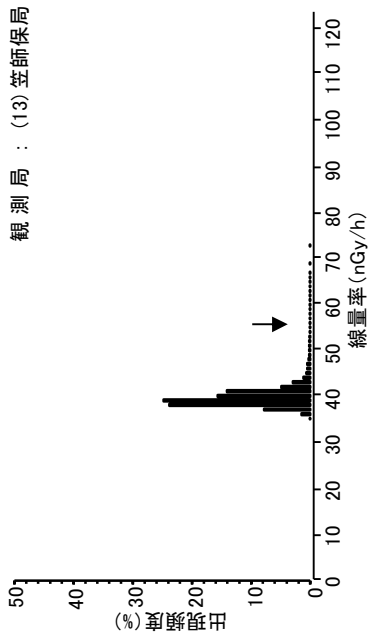
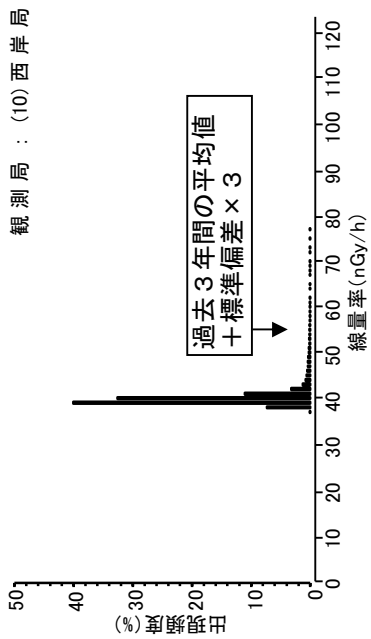
北陸電力実施分



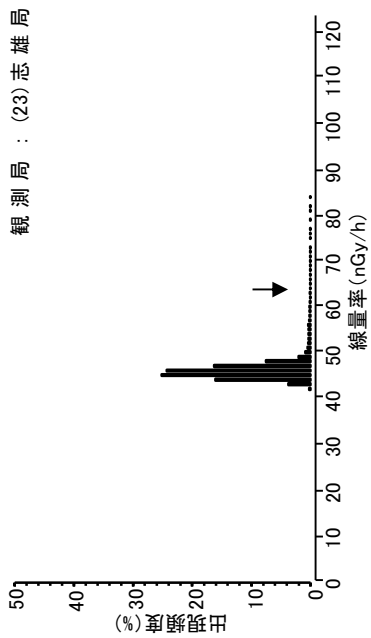
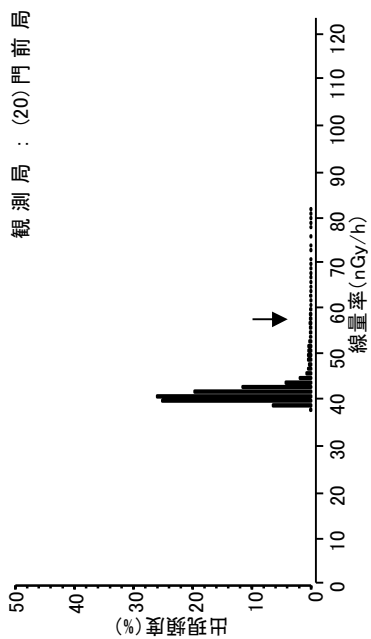
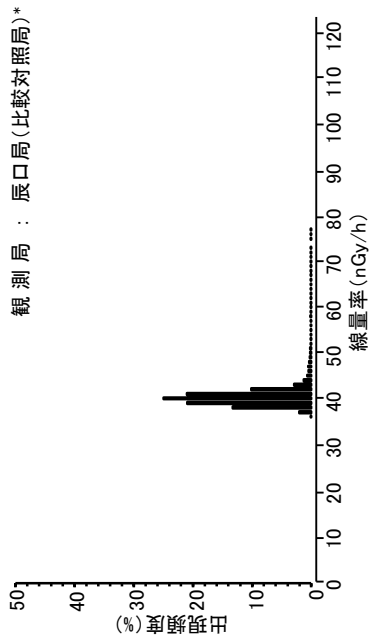
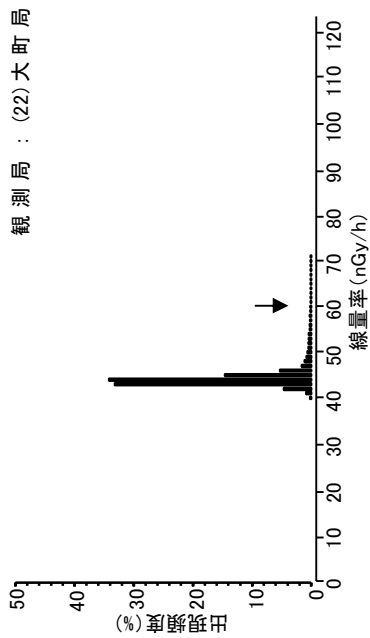
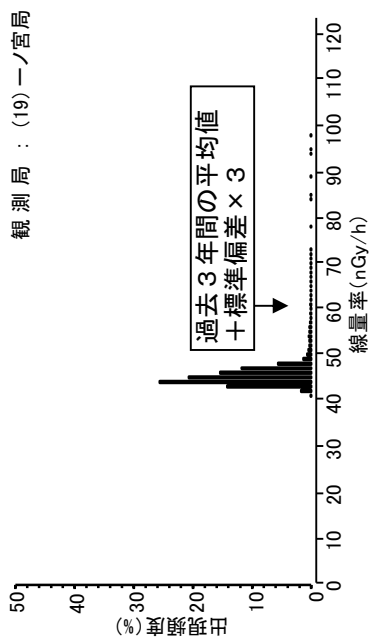
# 線量率の出現頻度



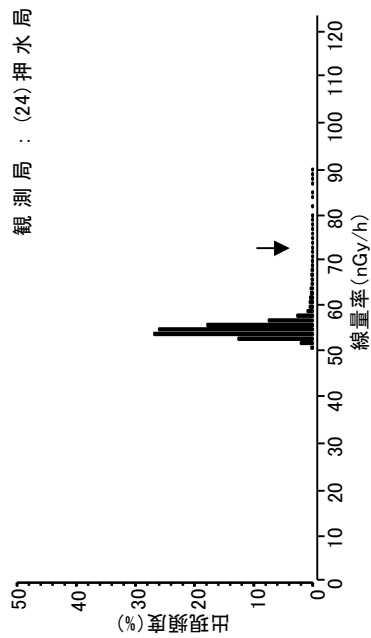
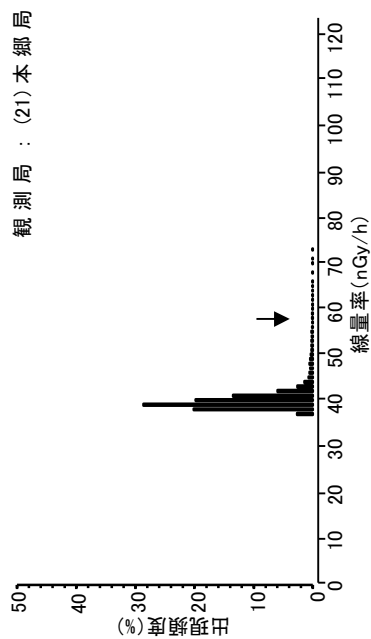
# 線量率の出現頻度



# 線量率の出現頻度

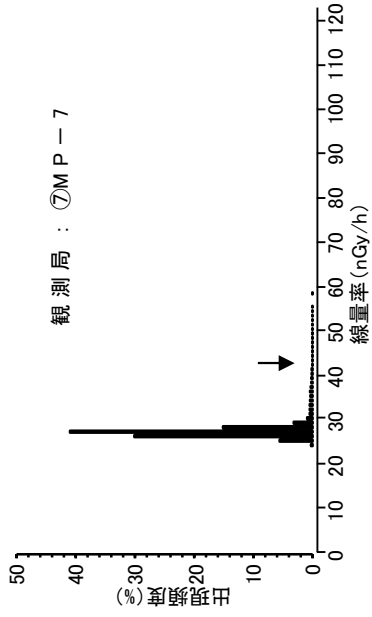
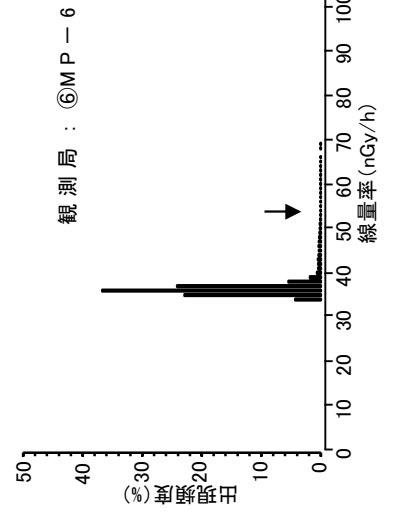
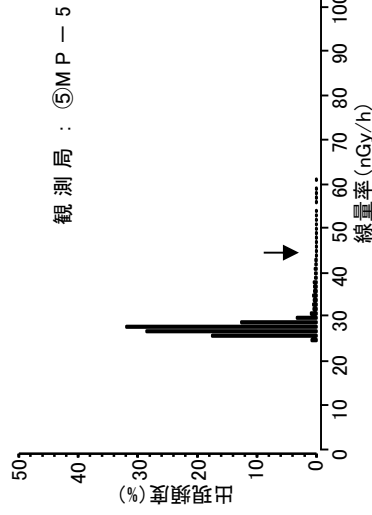
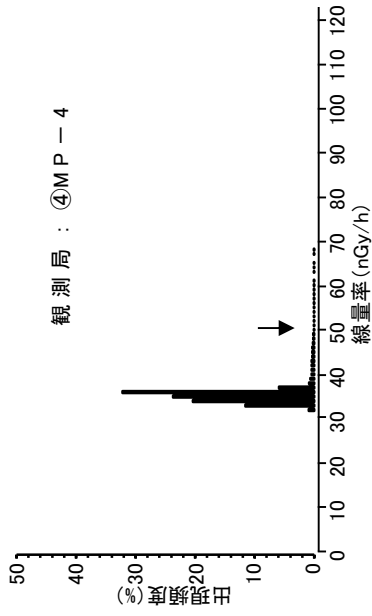
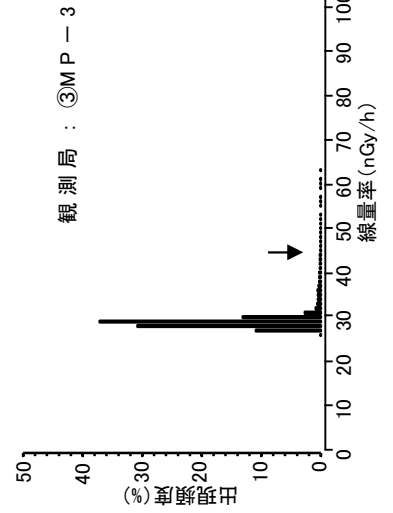
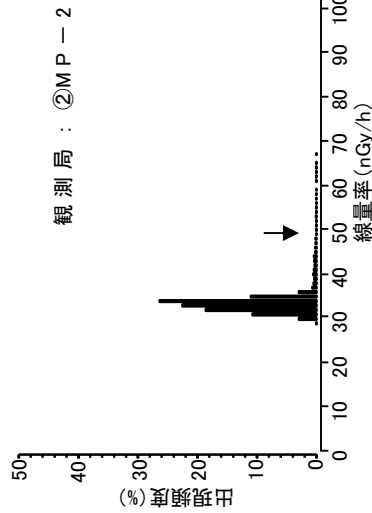
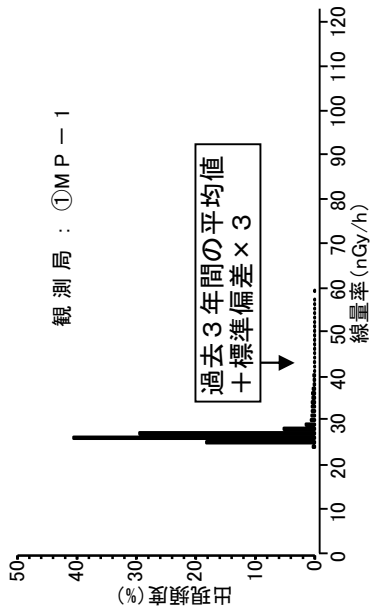


\*: 令和6年3月の検出器更新作業に伴い、設置位置等を変更したため、「過去3年間の平均値 ± 標準偏差 × 3」については表示なし。

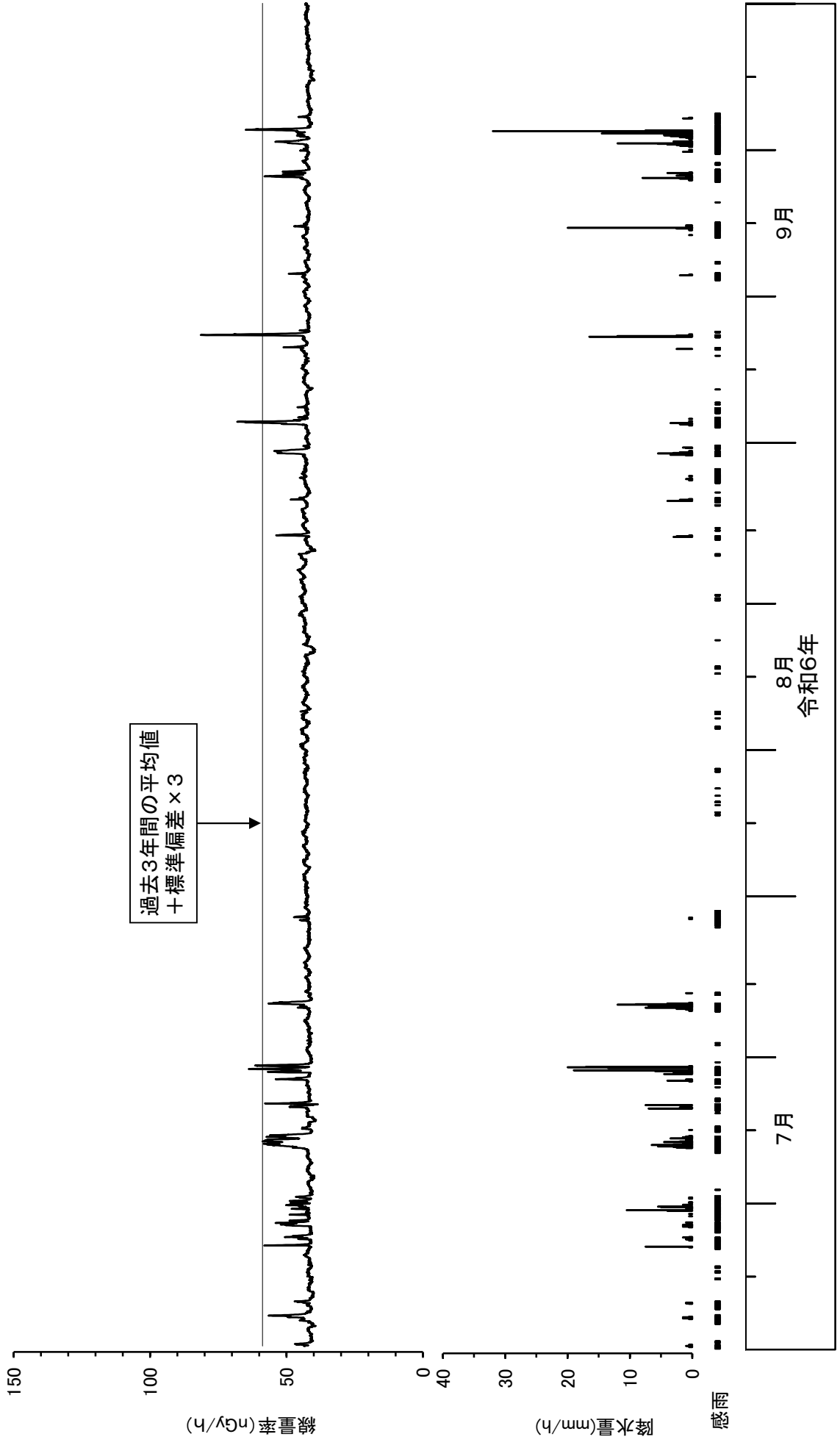




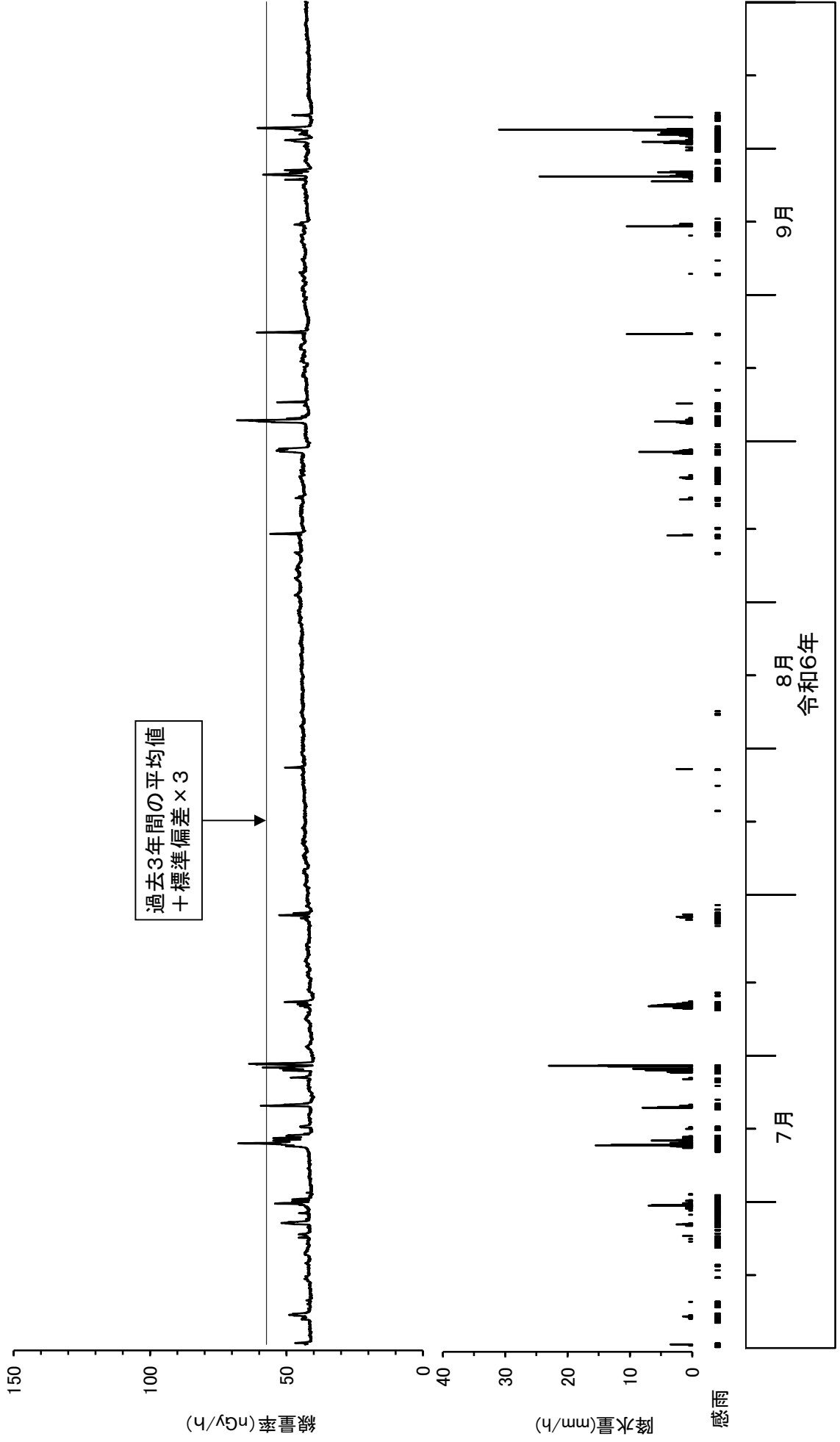
# 線量率の出現頻度



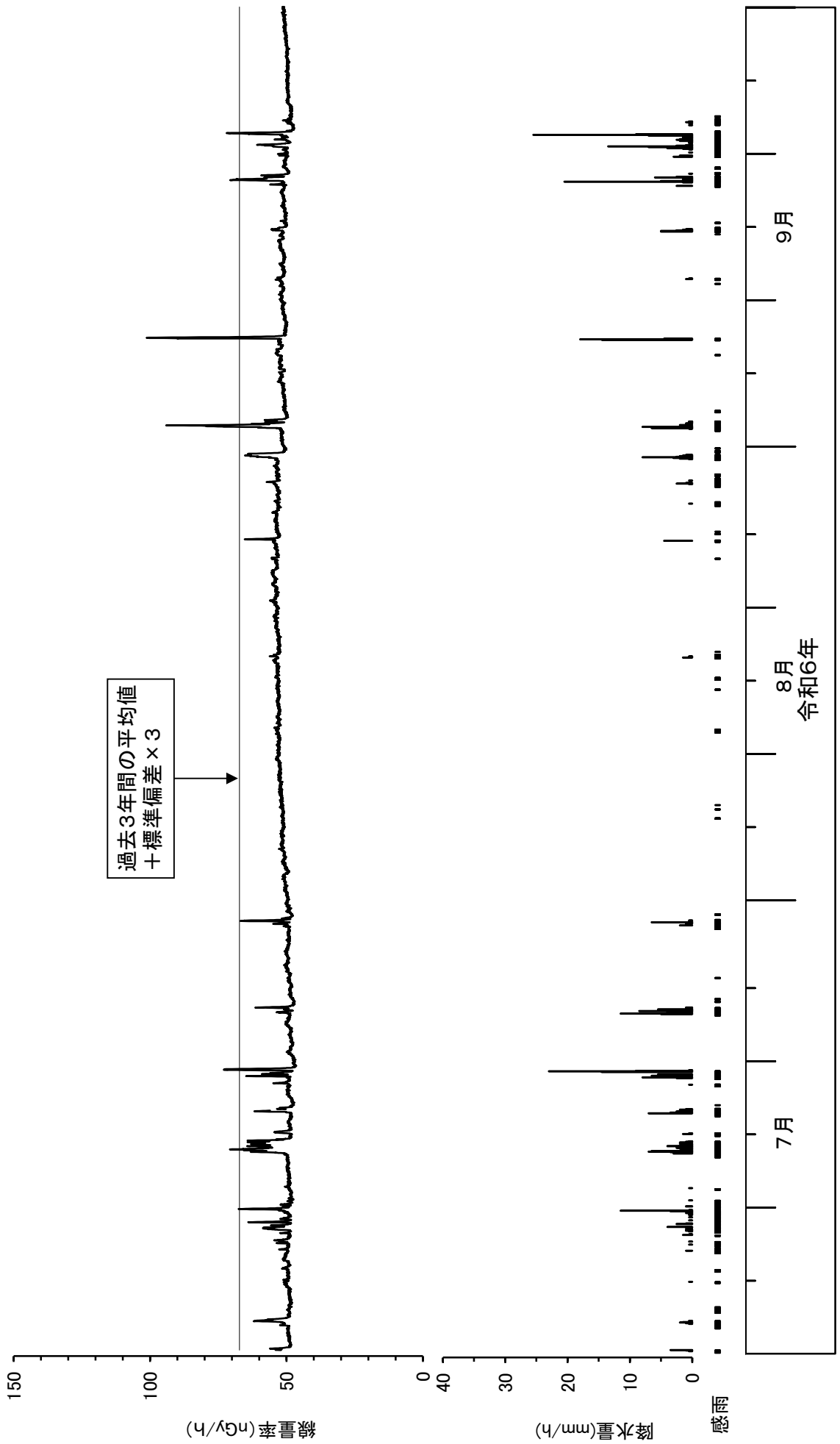
# 線量率と降水量の関係(大西局)



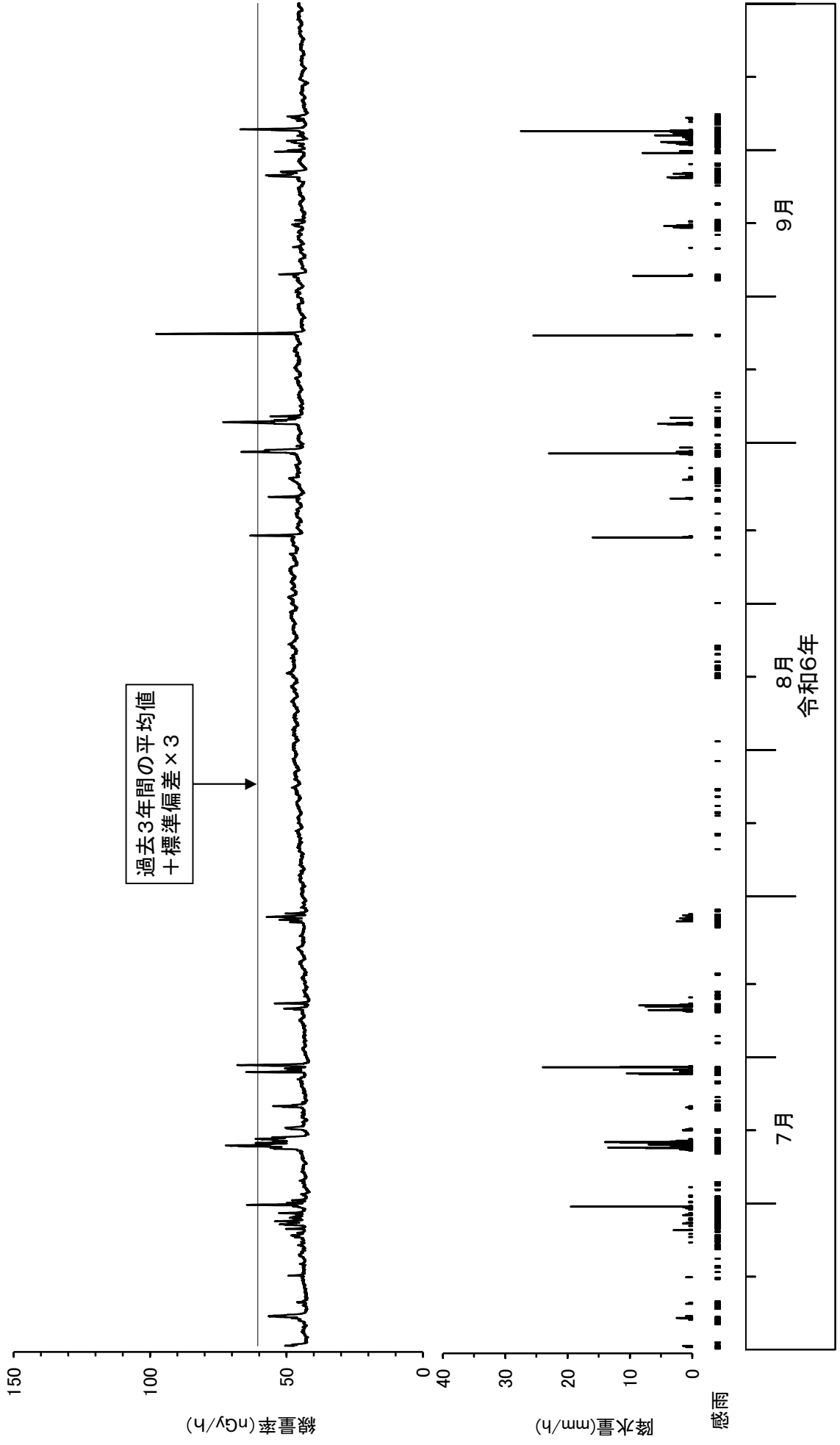
# 線量率と降水量の関係(福浦局)



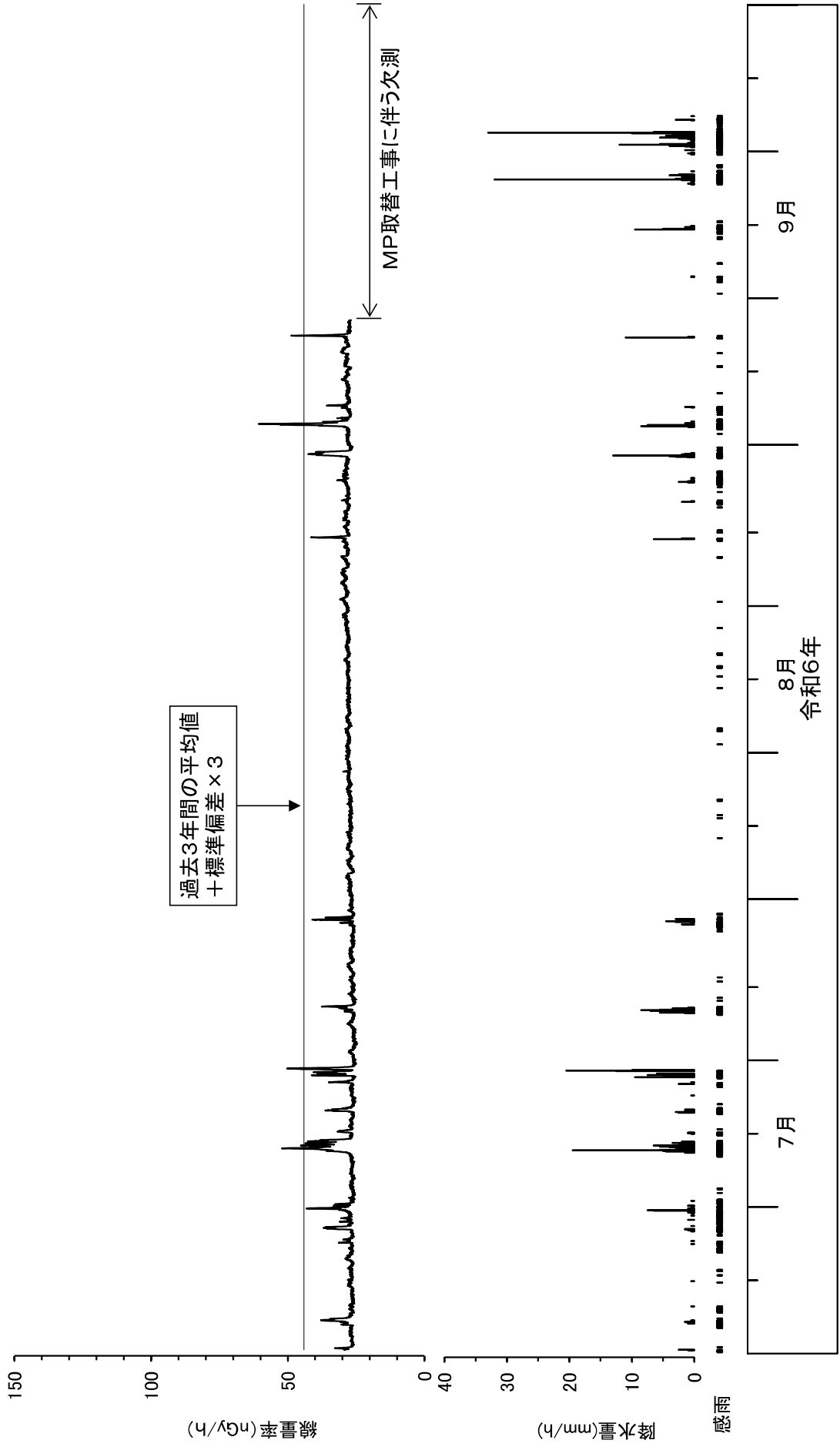
# 線量率と降水量の関係(志賀局)



# 線量率と降水量の関係(一ノ宮局)



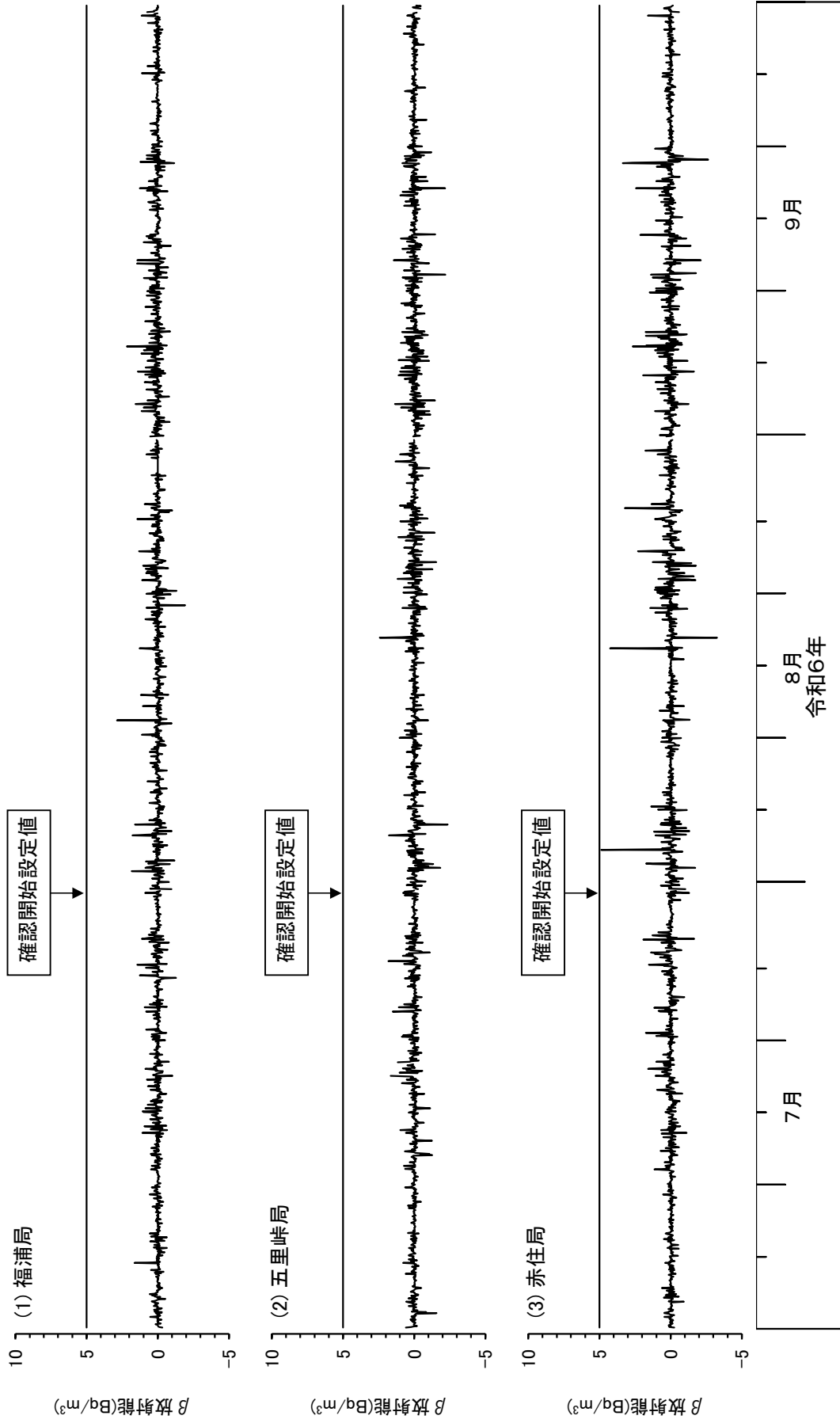
# 線量率と降水量の関係(MP5)



2 環境試料中の放射能

(1) 大気中放射性物質

a 大気浮遊じん(β放射能)の変動状況



(1) 大気中放射性物質(つづき)

b 大気浮遊じん(全β放射能)

北陸電力実施分

単位: Bq/m<sup>3</sup>

測定地点	測定年月	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R3.4~R6.3)
MP-2	令和6年7月	7.9	0.17	2.1	0.07~11
	8月	8.9	0.36	2.6	
	9月	9.0	0.32	2.6	
	期間	9.0	0.17	2.4	
MP-6	令和6年7月	9.9	0.11	2.2	0.06~12
	8月	11	0.28	2.8	
	9月	9.7	0.27	2.7	
	期間	11	0.11	2.6	

(注)吸引口高さ:地上高2.5m

c 放射性ヨウ素

石川県実施分

単位: Bq/m<sup>3</sup>

測定地点	捕集年月	測定回数	空気吸引量 (m <sup>3</sup> /回)	<sup>131</sup> I	過去の測定結果 (測定範囲) (R3.4~R6.3)
福浦局	令和6年7月 (R6.6.24~R6.7.29)	5	521 ~ 525	ND	ND
	8月 (R6.7.29~R6.8.26)	4	523 ~ 525	ND	
	9月 (R6.8.26~R6.9.30)	5	518 ~ 524	ND	
	期間	14	518 ~ 525	ND	
五里峠局	令和6年7月 (R6.6.24~R6.7.29)	5	511 ~ 517	ND	ND
	8月 (R6.7.29~R6.8.26)	4	512 ~ 515	ND	
	9月 (R6.8.26~R6.9.30)	5	512 ~ 515	ND	
	期間	14	511 ~ 517	ND	
赤住局	令和6年7月 (R6.6.24~R6.7.29)	5	502 ~ 510	ND	ND
	8月 (R6.7.29~R6.8.26)	1*	509	ND	
	9月 (R6.8.26~R6.9.30)	5	494 ~ 509	ND	
	期間	11	494 ~ 510	ND	

(注)「ND」は検出下限値未満である。

1回の捕集時間は、月曜日9時から翌週月曜日9時までの1週間である。

測定値は、捕集終了から3時間経過後に10分間測定した値である。

\*:測定機器故障のため、令和6年7月29日から8月19日まで欠測



## (2) 核種分析 (機器分析)

## a 降下物 (雨水ちり)

単位: Bq/m<sup>2</sup>・月 (30日換算値)

採取地点	採取期間	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
		<sup>137</sup> Cs	その他の核種	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3	
						<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs
志賀町安部屋 (志賀局) 石川県実施分	6. 6.28~6. 7.31	LTD	LTD	167±1	0.9±0.2	LTD	LTD	LTD	LTD
	6. 7.31~6. 8.30	LTD	LTD	19.2±0.4	0.6±0.2	~	~	~	~
	6. 8.30~6. 9.30	LTD	LTD	110.5±0.8	0.8±0.2	0.23	29 <sup>*2</sup>	28 <sup>*2</sup>	0.22
志賀町福浦港 (福浦局) 石川県実施分	6. 6.28~6. 7.31	LTD	LTD	84.5±0.7	5.6±0.3	LTD	LTD	LTD	LTD
	6. 7.31~6. 8.30	LTD	LTD	20.7±0.4	1.0±0.2	~	~	~	LTD
	6. 8.30~6. 9.30	LTD	LTD	36.3±0.5	1.1±0.2	0.28	27 <sup>*2</sup>	26 <sup>*2</sup>	
金沢市太陽が丘 (保健環境センター) 石川県実施分 (比較対象地点)	6. 6.28~6. 7.31	LTD	LTD	221±1	ND	LTD	LTD	LTD	LTD
	6. 7.31~6. 8.30	LTD	LTD	59.2±0.6	ND	~	~	~	LTD
	6. 8.30~6. 9.30	LTD	LTD	98.6±0.7	0.6±0.2	0.51 <sup>*3</sup>	13 <sup>*2</sup>	12 <sup>*2</sup>	
発電所敷地内 北陸電力実施分	6. 7. 1~6. 8. 1	LTD	LTD	146±1	2.2±0.3	LTD	LTD	LTD	LTD
	6. 8. 1~6. 9. 2	LTD	LTD	51.2±0.6	1.9±0.3	LTD	~	~	LTD
	6. 9. 2~6.10. 1	LTD	LTD	70.8±0.9	5.1±0.4		30.2 <sup>*2</sup>	29.7 <sup>*2</sup>	
志賀町福浦港 北陸電力実施分	6. 7. 1~6. 8. 1	LTD	LTD	134±1	2.8±0.3	LTD	LTD	LTD	LTD
	6. 8. 1~6. 9. 2	LTD	LTD	67.4±0.7	2.3±0.3	~	~	~	LTD
	6. 9. 2~6.10. 1	LTD	LTD	70.7±0.8	4.6±0.4	0.23	24.3 <sup>*2</sup>	24.1 <sup>*2</sup>	

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「その他の核種」は<sup>51</sup>Cr、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Csを表す。<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。<sup>\*3</sup>: 平成4年度からの測定結果。なお、平成2年7月~平成4年3月の採取地点(金沢市三馬)での測定結果はLTD~0.20 Bq/m<sup>2</sup>・月

(2) 核種分析（機器分析）（つづき）

b 大気中放射性物質（大気浮遊じん）

単位：mBq/m<sup>3</sup>

採取地点	採取期間	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
		<sup>137</sup> Cs	その他の核種	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	H2.7～H23.2	H23.3～H28.3 <sup>*1</sup>		H28.4～R6.3
						<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs
志賀町福浦港 （福浦局） 石川県実施分 （γストロンブー法）	6. 6.28～6. 7.31	LTD	LTD	1.90±0.06	ND	—*2	—*2	—*2	—*2
	6. 7.31～6. 8.31	LTD	LTD	1.68±0.06	ND				
	6. 8.31～6. 9.30	LTD	LTD	3.40±0.08	ND				
志賀町五里峠 （五里峠局） 石川県実施分 （γストロンブー法）	6. 6.28～6. 7.31	LTD	LTD	1.95±0.06	ND	—*2	—*2	—*2	—*2
	6. 7.31～6. 8.31	LTD	LTD	1.56±0.06	ND				
	6. 8.31～6. 9.30	LTD	LTD	3.56±0.08	ND				
志賀町赤住 （赤住局） 石川県実施分 （γストロンブー法）	6. 6.28～6. 7.31	LTD	LTD	1.87±0.06	ND	—*2	—*2	—*2	—*2
	6. 7.31～6. 8.31	LTD	LTD	1.77±0.06	ND				
	6. 8.31～6. 9.30	LTD	LTD	3.41±0.08	ND				
志賀町三明 （熊野局） 石川県実施分 （ハイボリウムエアカウンタ法）	6. 6.28～6. 7.16	LTD	LTD	2.37±0.02	ND	—*3	—*3	—*3	—*3
	6. 7.16～6. 7.31	LTD	LTD	1.91±0.02	ND				
	6. 7.31～6. 8.15	LTD	LTD	1.83±0.02	ND				
	6. 8.15～6. 8.30	LTD	LTD	1.77±0.02	ND				
	6. 8.30～6. 9.13	LTD	LTD	4.42±0.03	ND				
6. 9.13～6. 9.30	LTD	LTD	2.96±0.02	ND					
金沢市太陽が丘 （保健環境センター） 石川県実施分 （ハイボリウムエアカウンタ法） （比較対照地点）	6. 6.28～6. 7.16	LTD	LTD	2.70±0.02	ND	LTD <sup>*4</sup>	LTD ～ 0.36 <sup>*5</sup>	LTD ～ 0.42 <sup>*5</sup>	LTD
	6. 7.16～6. 7.31	LTD	LTD	2.02±0.02	ND				
	6. 7.31～6. 8.15	LTD	LTD	1.84±0.02	ND				
	6. 8.15～6. 8.30	LTD	LTD	1.53±0.02	ND				
	6. 8.30～6. 9.13	LTD	LTD	4.38±0.03	ND				
6. 9.13～6. 9.30	LTD	LTD	2.99±0.02	ND					
発電所敷地内 （MP-2） 北陸電力実施分 （γストロンブー法）	6. 7. 1～6. 7.31	LTD	LTD	1.82±0.03	ND	LTD	LTD ～ 0.44 <sup>*5</sup>	LTD ～ 0.49 <sup>*5</sup>	LTD
	6. 8. 1～6. 8.31	LTD	LTD	1.61±0.03	ND				
	6. 9. 1～6. 9.30	LTD	LTD	3.89±0.05	ND				
発電所敷地内 （MP-6） 北陸電力実施分 （γストロンブー法）	6. 7. 1～6. 7.31	LTD	LTD	1.70±0.03	ND	LTD	LTD ～ 0.41 <sup>*5</sup>	LTD ～ 0.46 <sup>*5</sup>	LTD
	6. 8. 1～6. 8.31	LTD	LTD	1.82±0.03	ND				
	6. 9. 1～6. 9.30	LTD	LTD	3.68±0.05	ND				

（注）「LTD」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「その他の核種」は<sup>51</sup>Cr、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Csを表す。

\*1：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間

\*2：令和6年度より測定開始。なお、平成2年7月～令和6年3月の採取地点（志賀町安部屋）での測定結果は<sup>134</sup>CsがLTD～0.42<sup>\*5</sup> mBq/m<sup>3</sup>、<sup>137</sup>CsがLTD～0.40<sup>\*5</sup> mBq/m<sup>3</sup>

\*3：令和6年度より測定開始。なお、平成2年7月～令和6年3月の採取地点（志賀町福浦港）での測定結果は<sup>134</sup>CsがLTD～0.61<sup>\*5</sup> mBq/m<sup>3</sup>、<sup>137</sup>CsがLTD～0.54<sup>\*5</sup> mBq/m<sup>3</sup>

\*4：平成4年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成4年3月の採取地点（金沢市三馬）での測定結果はLTD

\*5：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

(2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

c 陸水

単位: mBq/L

測定試料	採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
			<sup>137</sup> Cs	その他の核種	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	H2. 7~H23. 2	H23. 3~H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4~R6. 3	
							<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs
水道水	県 志賀町末吉	6. 7. 29	LTD	LTD	ND	89±6	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町富来領家	6. 7. 29	LTD	LTD	ND	42±5	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD	LTD
	電 志賀町若葉台	6. 7. 18	LTD	LTD	ND	180±10	LTD	LTD	LTD	LTD
河川水	電 大坪川	6. 7. 18	LTD	LTD	ND	42±8	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。  
「ND」は検出下限値未満である。  
「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。  
「その他の核種」は<sup>51</sup>Cr、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Csを表す。  
<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間  
<sup>\*2</sup>: 平成7年度からの測定結果。なお、平成2年7月~平成7年3月の採取地点(志賀町富来地頭)での測定結果はLTD

d 土壌

単位: Bq/kg乾土

採取地点	深さ (cm)	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果				
			<sup>137</sup> Cs	その他の核種	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	H2. 7~H23. 2	H23. 3~H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4~R6. 3		
							<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	
県	志賀町若葉台	0~5	6. 8. 6	LTD	LTD	ND	762±9	LTD	LTD	LTD	LTD
		5~25		LTD	LTD	ND	760±9	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町直海	0~5	6. 8. 6	41.6±0.7	LTD	ND	398±9	64.7~132	LTD	54.0~60.2	39.8~51.8
		5~25		16.7±0.5	LTD	ND	484±9	3.7~29.8	LTD	15.9~26.2	12.4~28.3
電	発電所敷地内	0~5	6. 8. 22	30.3±0.5	LTD	8±2	244±6	50.4~65.4 <sup>*2*</sup>	LTD	39.7~65.2 <sup>*2*</sup>	25.6~52.0 <sup>*2</sup>
	志賀町赤住	0~5	6. 8. 22	34.2±0.6	LTD	ND	384±8	47.2~50.5 <sup>*2*</sup>	LTD	41.8~62.6 <sup>*2*</sup>	28.0~51.0 <sup>*2</sup>

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。  
「ND」は検出下限値未満である。  
「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。  
「その他の核種」は<sup>51</sup>Cr、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Csを表す。  
<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間  
<sup>\*2</sup>: 平成22年9月からの測定結果(平成22年9月に同一箇所を掘り下げる採取方法から採取箇所が重複しない方法に変更)  
<sup>\*3</sup>: 平成2年7月~平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果はLTD~87.6Bq/kg乾土  
<sup>\*4</sup>: 平成2年7月~平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果は3.1~83.2Bq/kg乾土

e 指標植物 (松葉)

単位: Bq/kg生

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果				
		<sup>137</sup> Cs	その他の核種	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	H2. 7~H23. 2	H23. 3~H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4~R6. 3		
						<sup>137</sup> Cs	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	
県	志賀町若葉台	6. 8. 23	LTD	LTD	16.3±0.2	83.6±0.5	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町相神	6. 8. 23	LTD	LTD	18.8±0.2	69.2±0.5	— <sup>*3</sup>	— <sup>*4</sup>	— <sup>*4</sup>	LTD <sup>*5</sup>
電	発電所敷地内	6. 8. 26	LTD	LTD	9.9±0.1	77.4±0.4	LTD~1.08	LTD	LTD	LTD
	志賀町赤住	6. 8. 22	LTD	LTD	12.0±0.1	93.7±0.5	LTD~0.79	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。  
「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。  
「その他の核種」は<sup>51</sup>Cr、<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>58</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>134</sup>Csを表す。  
<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間  
<sup>\*2</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。  
<sup>\*3</sup>: 平成2年7月~平成9年3月の採取地点(志賀町三明)および平成9年4月~平成23年2月の採取地点(志賀町谷神)での測定結果はLTD  
<sup>\*4</sup>: 平成23年3月~平成30年3月の採取地点(志賀町谷神)での測定結果は<sup>134</sup>Cs、<sup>137</sup>CsともにLTD~2.7<sup>\*2</sup>Bq/kg生、平成30年4月~令和3年3月の採取地点(志賀町福浦港)での測定結果はLTD  
<sup>\*5</sup>: 令和5年度からの測定結果。なお、令和3年4月~令和5年3月の採取地点(志賀町福浦港)での測定結果はLTD

## (2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

## f 農畜産物

単位：牛乳はBq/L、スイカはBq/kg生

測定試料	採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
			$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3	
							$^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$
牛乳	県 志賀町西海久喜	6. 8.19	LTD	LTD	ND	48.4±0.3	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD	LTD
	電 志賀町西海久喜	6. 8.19	LTD	LTD	ND	48.8±0.3	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD	LTD
スイカ	県 志賀町倉垣	6. 7.28	LTD	LTD	ND	48.5±0.3	LTD	LTD	LTD	LTD
	電 志賀町大津	6. 7.23	LTD	LTD	ND	45.1±0.2	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は $^{51}\text{Cr}$ 、 $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{58}\text{Co}$ 、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ を表す。<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>: 平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月~平成10年8月の採取地点(志賀町安部屋)での測定結果はLTD

## g 海水

単位：mBq/L

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
		$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3	
						$^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$
県	志賀町赤住(辰田)地先	6. 8. 2	2.0±0.3	LTD	/	LTD~3.3	LTD	LTD~2.0	LTD~2.0
	志賀町赤住(宮の先)地先	6. 8. 2	LTD	LTD	/	LTD~3.6	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港(吉良)地先	6. 8. 2	LTD	LTD	/	LTD~3.6	LTD	LTD	LTD~2.0
電	1号機放水口付近	6. 7.31	LTD	LTD	/	LTD~4.3	LTD	LTD~2.7	LTD
	2号機放水口付近	6. 7.31	LTD	LTD	/	LTD~2.4 <sup>*2</sup>	LTD	LTD~2.3	LTD~2.5
	志賀町赤住(江野)地先	6. 7.31	LTD	LTD	/	LTD~3.9	LTD	LTD~2.5	LTD~2.4
	志賀町福浦港(丹和)地先	6. 7.31	LTD	LTD	/	LTD~4.0	LTD	LTD~2.6	LTD~2.3

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{58}\text{Co}$ 、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ を表す。<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>: 平成15年度からの測定結果

## (2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

## h 海底土

単位: Bq/kg乾土

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果				
		$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	H2. 7~H23. 2	H23. 3~H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4~R6. 3		
		$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	
県	志賀町赤住 (辰田)地先	6. 8. 2	LTD	LTD	8±2	703±8	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町赤住 (宮の先)地先	6. 8. 2	LTD	LTD	8±2	718±8	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港 (吉良)地先	6. 8. 2	LTD	LTD	7±2	678±8	LTD	LTD	LTD	LTD
電	1号機放水口付近	6. 8. 1	LTD	LTD	ND	690±8	LTD	LTD	LTD	LTD
	2号機放水口付近	6. 8. 1	LTD	LTD	10±1	688±8	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD	LTD
	志賀町赤住 (江野)地先	6. 8. 1	LTD	LTD	6±1	651±8	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港 (丹和)地先	6. 8. 1	LTD	LTD	9±1	677±8	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は $^{51}\text{Cr}$ 、 $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{58}\text{Co}$ 、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ を表す。<sup>\*1</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>: 平成15年度からの測定結果

## i 指標海産物 (ホンダワラ)

単位: Bq/kg生

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果				
		$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	H2. 7~H23. 2	H23. 3~H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4~R6. 3		
		$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	
県	志賀町赤住地先	6. 8. 6	LTD	LTD	10. 6±0. 4	367±2	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町百浦地先	6. 8. 5	LTD	LTD	6. 6±0. 3	366±2	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港 (丹和)地先	6. 8. 1	LTD	LTD	1. 4±0. 3	368±2	LTD~0. 20	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港 (水之瀨)地先	6. 8. 1	LTD	LTD	5. 5±0. 3	376±2	LTD~0. 30	LTD	LTD	LTD
電	志賀町赤住 (赤住)地先	6. 8. 6	LTD	LTD	10. 7±0. 3	369±2	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町赤住 (江野)地先	6. 8. 6	LTD	LTD	12. 1±0. 3	337±2	LTD	LTD	LTD	LTD
	志賀町福浦港 (丹和)地先	6. 8. 1	LTD	LTD	1. 8±0. 3	394±2	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は $^{51}\text{Cr}$ 、 $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{58}\text{Co}$ 、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ を表す。<sup>\*</sup>: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間

## (2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

j 海産物

単位: Bq/kg生

測定試料				採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
					$^{137}\text{Cs}$	その他の核種	$^7\text{Be}$	$^{40}\text{K}$	H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3	
								$^{137}\text{Cs}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	
サザエ	肉	県	志賀町 百浦地先	6. 8. 1	LTD	LTD	1.43±0.09	75.6±0.6	LTD	LTD	LTD	LTD
			志賀町 吉良地先	6. 8. 7	LTD	LTD	1.9±0.1	76.4±0.6	LTD	LTD	LTD	LTD
	内臓	県	志賀町 百浦地先	6. 8. 1	LTD	LTD	8.5±0.2	53.4±0.7	LTD~0.22	LTD	LTD	LTD
			志賀町 吉良地先	6. 8. 7	LTD	LTD	7.9±0.2	55.4±0.7	LTD	LTD	LTD	LTD
チダイ	肉	県	富来沖	6. 8. 16	LTD	LTD	ND	130.8±0.6	LTD	LTD	LTD	LTD
カワハギ	肉	県	富来沖	6. 8. 7	LTD	LTD	ND	130.3±0.7	—*2	—*2	—*2	—*2

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分である。

「その他の核種」は $^{51}\text{Cr}$ 、 $^{54}\text{Mn}$ 、 $^{59}\text{Fe}$ 、 $^{58}\text{Co}$ 、 $^{60}\text{Co}$ 、 $^{134}\text{Cs}$ を表す。

\*1: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間

\*2: 令和6年度より測定開始

## (2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

k 放射性ヨウ素

単位：牛乳はBq/L、ホンダワラはBq/kg生

測定試料	採取地点	採取年月日	<sup>131</sup> I	過去の測定結果			
				H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 <sup>*1</sup>	H28. 4～R6. 3	
牛乳	県	志賀町西海久喜	6. 8. 19	LTD	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD
	電	志賀町西海久喜	6. 8. 19	LTD	LTD <sup>*2</sup>	LTD	LTD
指標海産物 (ホンダワラ)	県	志賀町赤住地先	6. 8. 6	LTD	LTD	LTD～3. 21 <sup>*3</sup>	LTD
		志賀町百浦地先	6. 8. 5	LTD	LTD～0. 21	LTD～2. 02 <sup>*3</sup>	LTD
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	6. 8. 1	LTD	LTD	LTD～0. 33 <sup>*3</sup>	LTD
		志賀町福浦港 (水之瀬) 地先	6. 8. 1	LTD	LTD	LTD～1. 49 <sup>*3</sup>	LTD
	電	志賀町赤住 (赤住) 地先	6. 8. 6	LTD	LTD	LTD～0. 35 <sup>*3</sup>	LTD
		志賀町赤住 (江野) 地先	6. 8. 6	LTD	LTD	LTD	LTD
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	6. 8. 1	LTD	LTD	LTD	LTD

(注) 「LTD」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

<sup>\*1</sup>：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>：平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月～平成10年8月の採取地点（志賀町安部屋）での測定結果はLTD<sup>\*3</sup>：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

## (3) 核種分析 (放射化学分析)

## a 放射性ストロンチウム

単位：土壌、海底土はBq/kg乾土、牛乳はBq/L、その他はBq/kg生

測定試料		採取地点	採取年月日	<sup>90</sup> Sr	過去の測定結果		
					H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3
土 壌	電	発電所敷地内	6. 5. 14	1.4±0.2	2.3~3.5 <sup>*2*3</sup>	1.8~3.9 <sup>*2*3</sup>	0.4~2.9 <sup>*2</sup>
		志賀町赤住	6. 5. 14	0.5±0.1	1.1~1.8 <sup>*2*4</sup>	0.8~2.0 <sup>*2*4</sup>	0.5~1.4 <sup>*2</sup>
牛 乳	県	志賀町西海久喜	6. 5. 15	L T D	L T D~0.030 <sup>*5</sup>	L T D~0.024 <sup>*6</sup>	L T D
海底土	電	1号機放水口付近	6. 5. 30	L T D	L T D	L T D	L T D
		2号機放水口付近	6. 5. 30	L T D	L T D <sup>*7</sup>	L T D	L T D
		志賀町赤住 (江野) 地先	6. 5. 30	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	6. 5. 30	L T D	L T D	L T D	L T D
ワカメ	県	志賀町赤住地先	6. 5. 15	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町吉良地先	6. 4. 4	L T D	L T D	L T D	L T D
サザエ	肉	県	志賀町百浦地先	6. 6. 12	L T D	L T D	L T D
			志賀町吉良地先	6. 5. 15	L T D	L T D	L T D
	内臓	志賀町百浦地先	6. 6. 12	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町吉良地先	6. 5. 15	L T D	L T D	L T D	L T D
メバル	肉	県	富来沖	6. 4. 15	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

<sup>\*1</sup>：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>：平成22年9月からの測定結果（平成22年9月に同一箇所を掘り下げる採取方法から採取箇所が重複しない方法に変更）<sup>\*3</sup>：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果は0.7~12.5Bq/kg乾土<sup>\*4</sup>：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果はL T D~6.0Bq/kg乾土<sup>\*5</sup>：平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月～平成10年8月の採取地点(志賀町安部屋)での測定結果はL T D~0.039Bq/L<sup>\*6</sup>：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。<sup>\*7</sup>：平成15年度からの測定結果

## b トリチウム

単位：Bq/L

測定試料		採取地点	採取年月日	<sup>3</sup> H	過去の測定結果		
					H2.7~H23.2	H23.3~H28.3 <sup>*1</sup>	H28.4~R6.3
陸水	水道水	県	志賀町末吉	6. 7. 29	L T D	L T D~1.9	L T D
			志賀町富来領家	6. 7. 29	L T D	L T D~1.3 <sup>*2</sup>	L T D
	河川水	電	志賀町若葉台	6. 7. 18	L T D	L T D	L T D
			大坪川	6. 7. 18	L T D	L T D~1.5	L T D
海 水	県	志賀町赤住(辰田)地先	6. 8. 2	L T D	L T D	L T D	
		志賀町赤住(宮の先)地先	6. 8. 2	L T D	L T D	L T D	
		志賀町福浦港(吉良)地先	6. 8. 2	L T D	L T D	L T D	
	電	1号機放水口付近	6. 7. 31	L T D	L T D	L T D	
		2号機放水口付近	6. 7. 31	L T D	L T D <sup>*3</sup>	L T D	
		志賀町赤住 (江野) 地先	6. 7. 31	L T D	L T D	L T D	
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	6. 7. 31	L T D	L T D	L T D	

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

<sup>\*1</sup>：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間<sup>\*2</sup>：平成7年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成7年3月の採取地点(志賀町富来地頭)での測定結果はL T D~1.6Bq/L<sup>\*3</sup>：平成15年度からの測定結果



### 3 気象要素

#### 風向・風速

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
志賀町	(1) 大福寺局	6年 7月	南	2.9	0.7
		8月	北北東	5.1	0.9
		9月	北北東	5.7	0.9
		期 間	北北東	5.7	0.8
	(2) 大西局	6年 7月	西南西	10.0	2.8
		8月	東北東	6.5	1.3
		9月	東北東	8.3	1.4
		期 間	東北東	10.0	1.8
	(3) 風無局	6年 7月	南南西	10.1	2.8
		8月	北 東	7.5	1.5
		9月	北 東	9.9	1.7
		期 間	北 東	10.1	2.0
	(4) 熊野局	6年 7月	西南西	5.3	1.8
		8月	東南東	6.3	1.0
		9月	北 西	5.4	1.0
		期 間	西南西	6.3	1.3
	(5) 福浦局	6年 7月	西南西	4.0	1.1
		8月	南 東	5.4	1.0
		9月	南 東	5.3	1.1
		期 間	南 東	5.4	1.1
	(6) 直海局	6年 7月	南 西	5.8	1.8
		8月	北 西	5.7	1.4
		9月	北 西	5.7	1.4
		期 間	北 西	5.8	1.5
	(7) 五里峠局	6年 7月	南南西	6.2	1.8
		8月	東北東	4.7	1.1
		9月	北 東	4.8	1.3
		期 間	東北東	6.2	1.4
	(8) 赤住局	6年 7月	南 西	10.9	2.9
		8月	東北東	10.9	2.3
		9月	東北東	13.9	2.7
		期 間	東北東	13.9	2.6
	(9) 志賀局	6年 7月	南 西	11.1	3.2
		8月	北 東	6.7	2.2
		9月	北 東	9.9	2.4
		期 間	北 東	11.1	2.6
七尾市	(10) 西岸局	6年 7月	南 西	5.4	1.6
		8月	北北東	6.4	1.3
		9月	南 西	8.1	1.4
		期 間	南 西	8.1	1.4

(注) 観測器の位置：地上10m (大福寺局、大西局、風無局、熊野局、福浦局、直海局、五里峠局、赤住局、西岸局)  
：地上12m (志賀局)

風向・風速 (つづき)

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
七尾市	(11) 能登島局	6年 7月	南南西	6.5	1.8
		8月	北	5.7	1.3
		9月	北	6.1	1.3
		期 間	北	6.5	1.5
	(12) 土川局	6年 7月	南	3.6	0.9
		8月	北 東	4.0	0.8
		9月	北 東	5.3	0.8
		期 間	北 東	5.3	0.8
	(13) 笠師保局	6年 7月	西南西	8.2	2.7
		8月	西	6.3	2.0
		9月	西	8.0	2.0
		期 間	西南西	8.2	2.2
	(14) 大津局	6年 7月	西南西	6.7	2.3
		8月	東南東	6.4	1.9
		9月	西南西	7.7	1.9
		期 間	西南西	7.7	2.0
(15) 田鶴浜局	6年 7月	西南西	5.5	1.5	
	8月	東北東	4.1	1.0	
	9月	北 東	5.1	1.0	
	期 間	西南西	5.5	1.2	
(16) 東湊局	6年 7月	西南西	8.1	2.0	
	8月	南南東	6.4	1.6	
	9月	南南東	8.6	1.6	
	期 間	西南西	8.6	1.8	
中能登町	(17) 末坂局	6年 7月	南南西	8.6	2.6
		8月	北	7.9	2.0
		9月	北	8.5	2.1
		期 間	南南西	8.6	2.3
	(18) 能登部局	6年 7月	南 西	8.8	2.3
		8月	北 東	8.1	1.6
		9月	北 東	6.7	1.6
		期 間	北 東	8.8	1.8
羽咋市	(19) 一ノ宮局	6年 7月	南 西	8.6	2.3
		8月	北北東	10.2	1.8
		9月	北北東	8.1	2.0
		期 間	北北東	10.2	2.0
輪島市	(20) 門前局	6年 7月	西	11.8	3.1
		8月	東	8.7	2.1
		9月	東	16.0	2.1
		期 間	西	16.0	2.4

(注) 観測器の位置：地上10m

風向・風速（つづき）

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
輪島市	(21)本郷局	6年 7月	南南西	3.7	0.8
		8月	東北東	3.4	0.7
		9月	東北東	3.5	0.6
		期 間	南	3.7	0.7
穴水町	(22)大町局	6年 7月	西南西	6.1	1.8
		8月	北 西	6.3	1.6
		9月	北 西	6.4	1.4
		期 間	北 西	6.4	1.6
宝達志水町	(23)志雄局	6年 7月	西南西	7.0	1.9
		8月	東南東	6.5	1.7
		9月	東南東	5.8	1.7
		期 間	東南東	7.0	1.8
	(24)押水局	6年 7月	南 西	11.4	3.3
		8月	東北東	8.0	2.2
		9月	東北東	13.7	2.2
		期 間	東北東	13.7	2.6

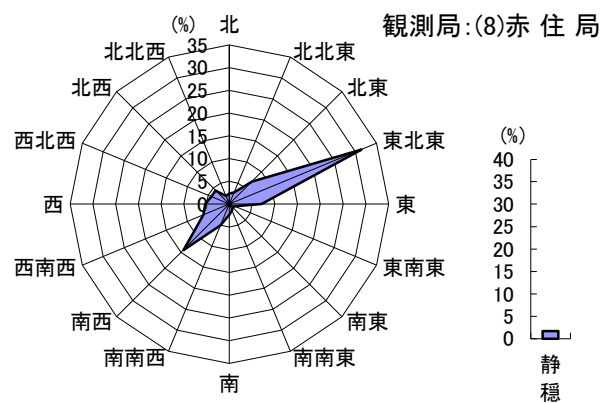
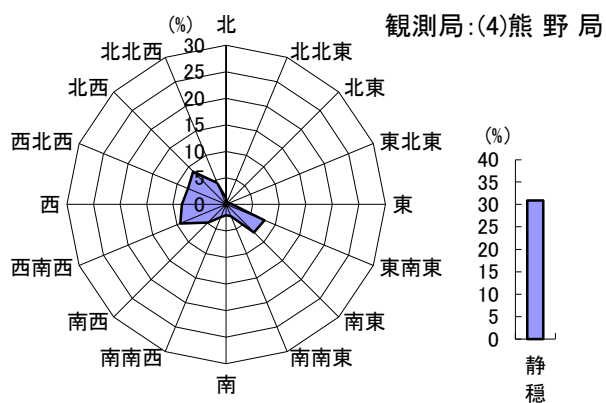
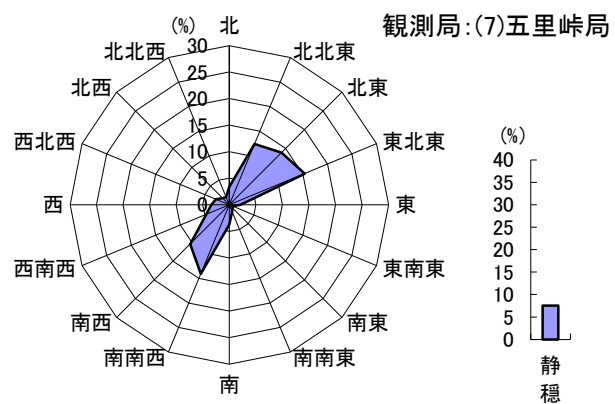
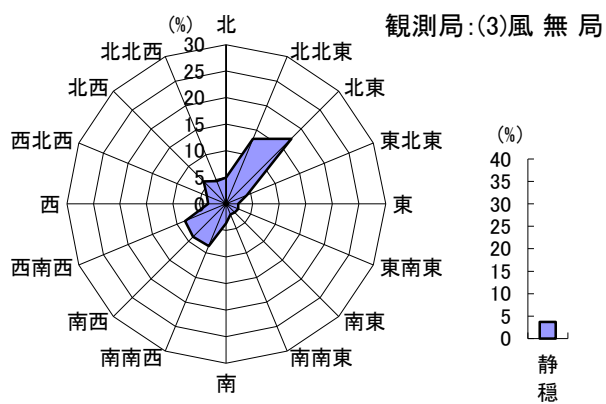
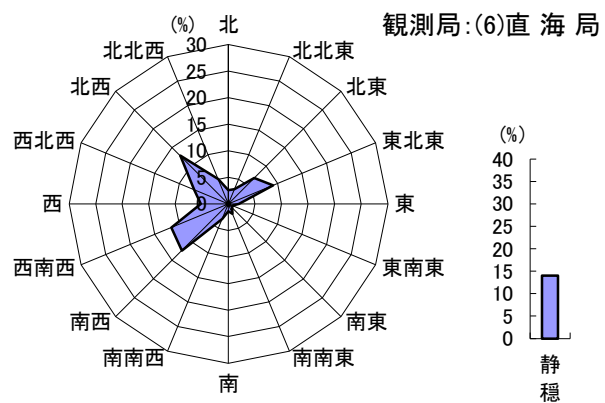
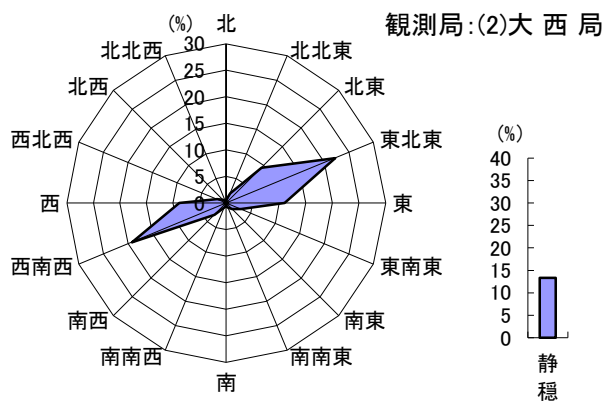
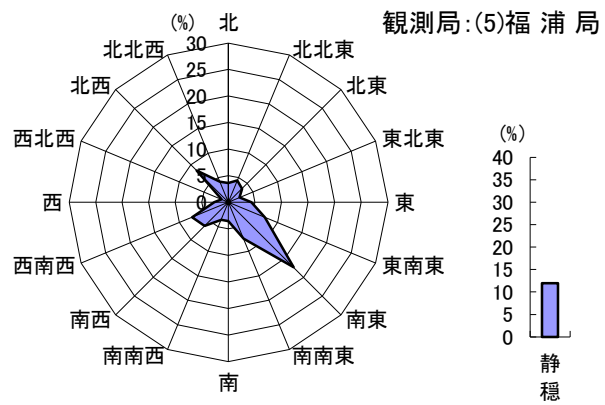
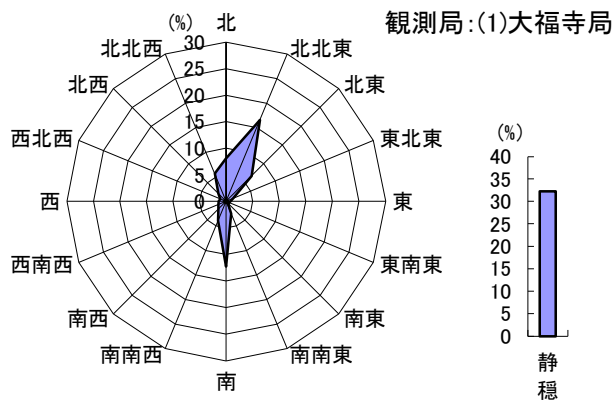
(注) 観測器の位置：地上10m

北陸電力実施分

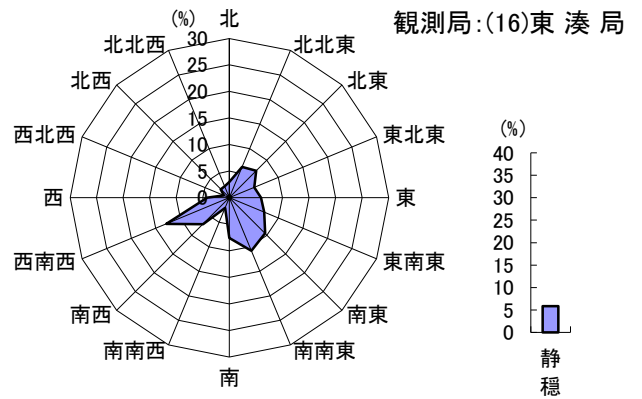
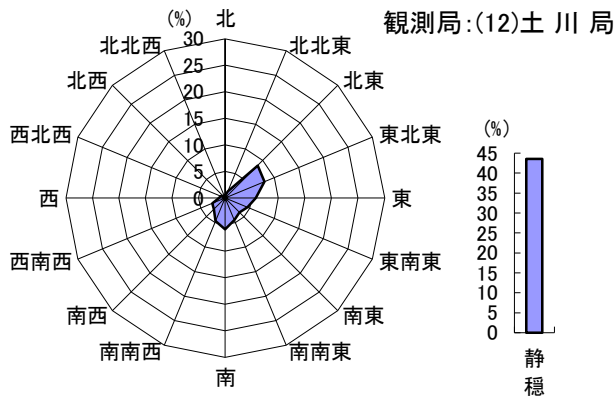
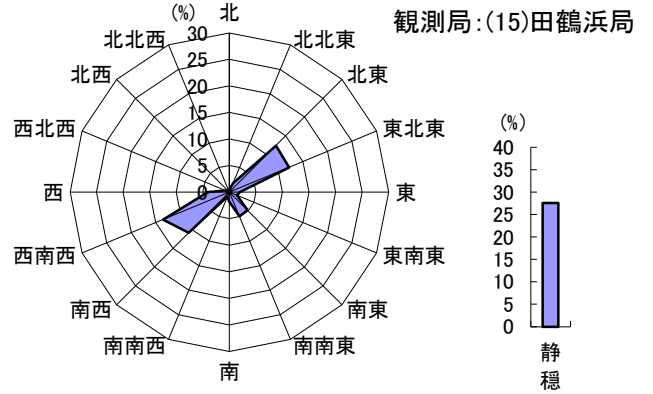
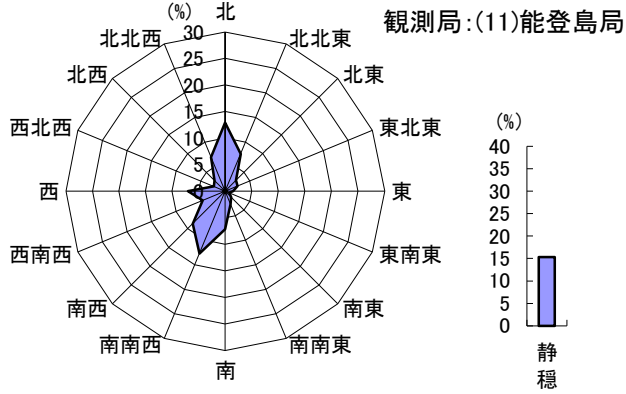
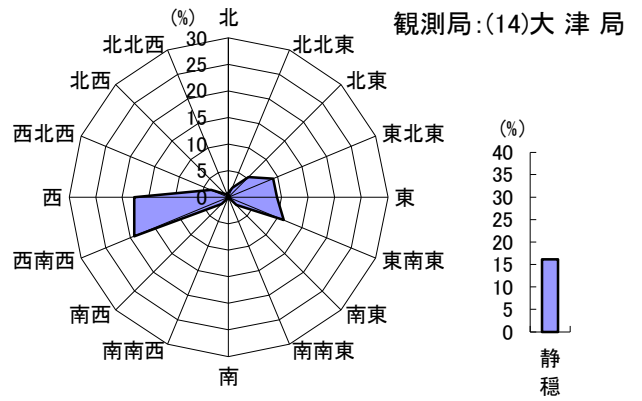
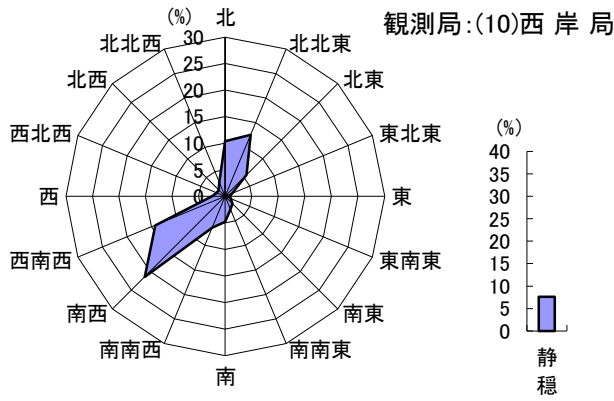
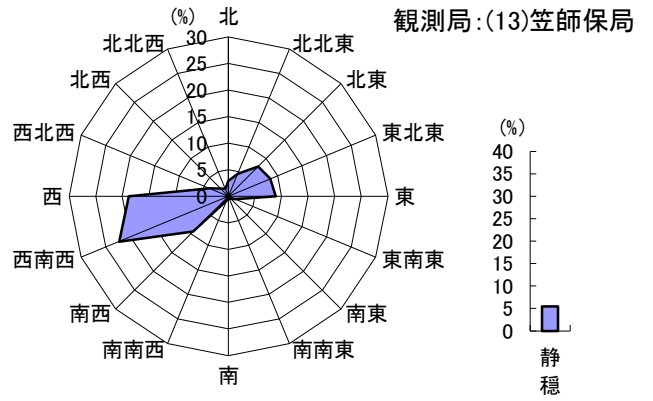
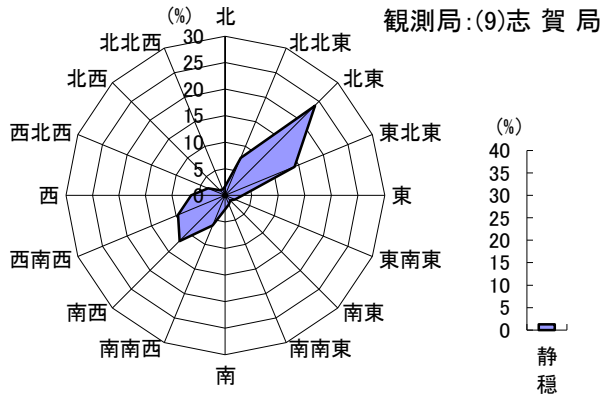
観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
発電所敷地内 (気象観測鉄塔)	6年 7月	南西	7.4	2.0	
	8月	東	5.7	1.6	
	9月	東北東	6.6	1.9	
	期 間	東北東	7.4	1.8	

(注) 観測器の位置：地上10m

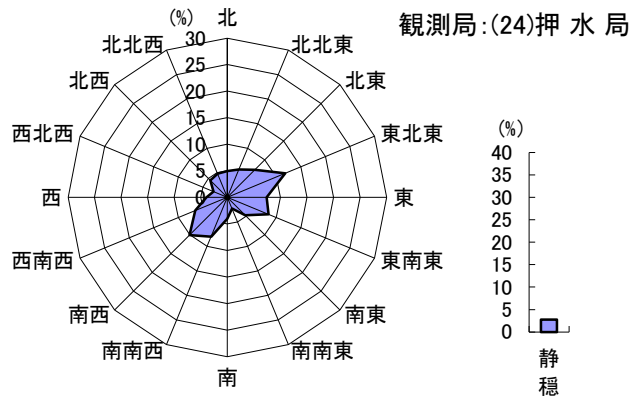
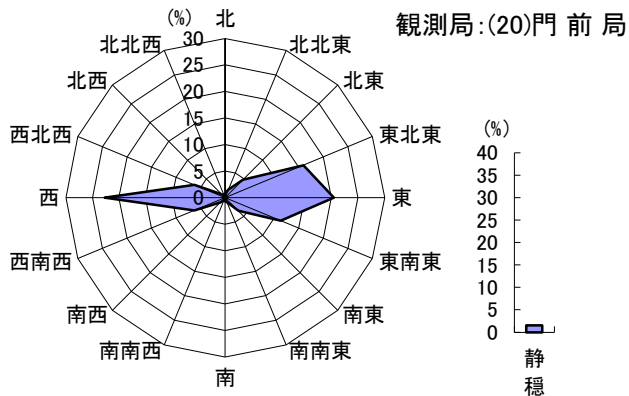
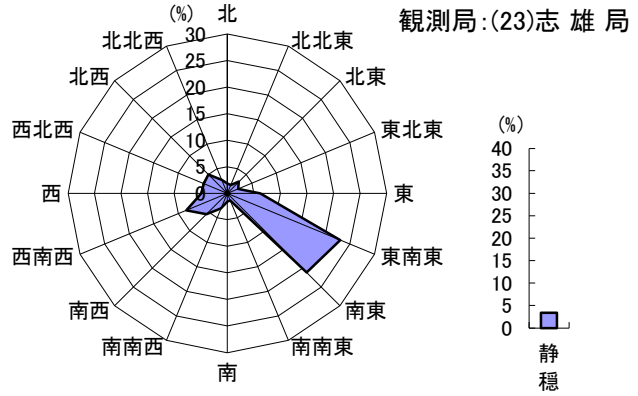
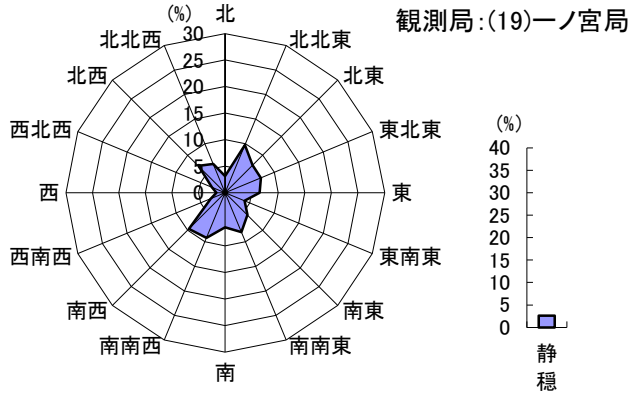
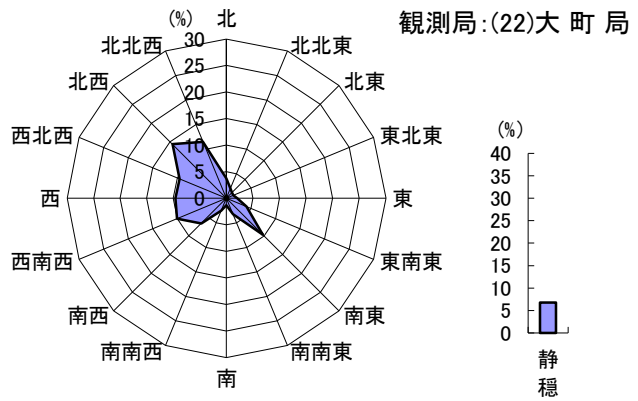
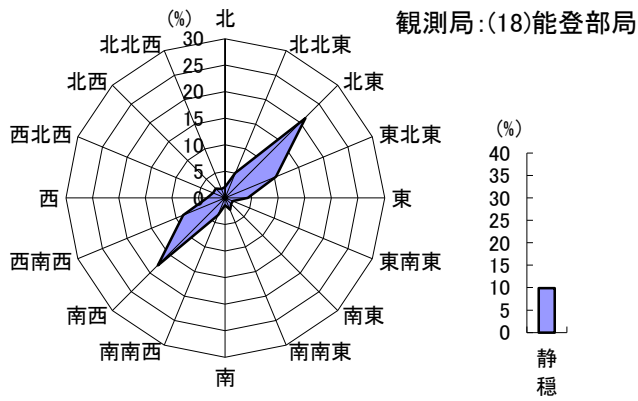
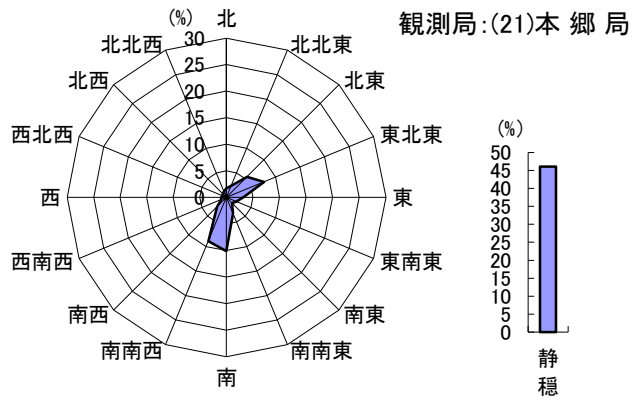
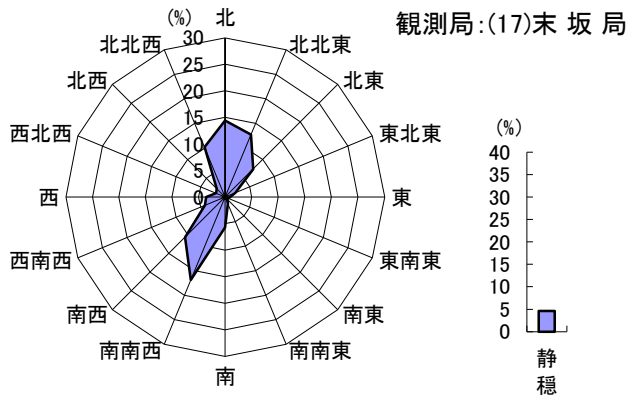
# 風配図



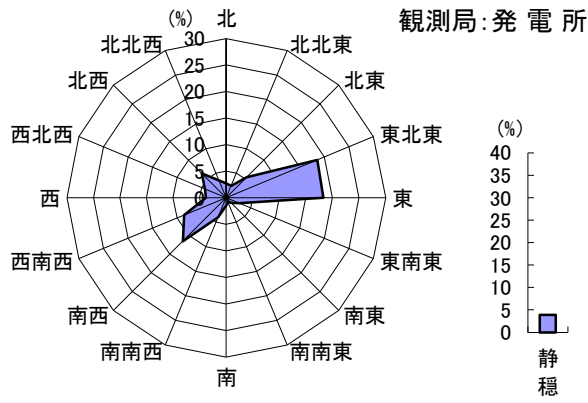
# 風配図



# 風配図

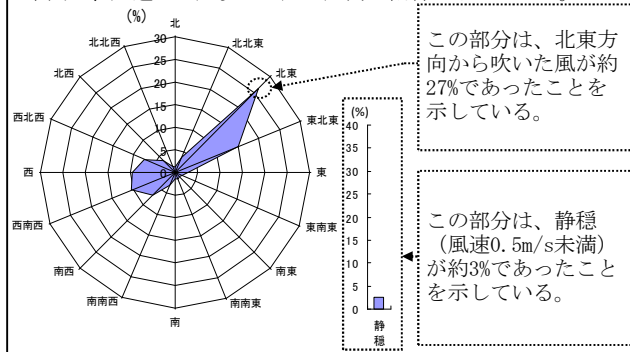


# 風配図



## <風配図の見方>

本図は、風速0.5m/s以上の風の風向の割合を示している。







## 参 考

1	測定方法と測定機器 .....	57
	(1) 空間放射線の連続測定 .....	57
	(2) 環境試料中の放射能測定 .....	58
	(3) 気象要素の観測 .....	62
2	測定値の取扱い .....	63
3	検出目標レベル .....	64
4	比較対照地点の位置 .....	66



# 1 測定方法と測定機器

## (1) 空間放射線の連続測定

項目	測定方法	測定機器
線量率	測定法 : 「連続モニタによる環境γ線測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄柱上(地上1.8m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源 : <sup>137</sup> Cs	線量率測定器 3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器
	(比較対象局:辰口局) 測定法 : 「連続モニタによる環境γ線測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄柱上(地上1.0m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源 : <sup>137</sup> Cs	線量率測定器 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器
	測定法 : 「連続モニタによる環境γ線測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄骨造建物屋上(地上4m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源 : <sup>137</sup> Cs	線量率測定器 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(2) 環境試料中の放射能測定

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
大 気 中 放 射 性 物 質	測定法 : 「大気中放射性物質測定法 (令和 4.6 [制定] 原子力規 制庁)」に準拠 捕集材 : ダストモニター用ろ紙(長尺) 捕集方式: 捕集材間欠送り方式 吸引量 : 約 100L/分 吸引口高さ: 地上 2.2m 校正線源: $^{36}\text{Cl}$ 、 $^{241}\text{Am}$ 評価式 : ・施設起因全 $\beta$ 放射能濃度推定値 ( $\beta$ 放射能) = 全 $\beta$ 放射能濃度測定値 - 自然全 $\beta$ 放射能濃度推定値 ・自然全 $\beta$ 放射能濃度推定値 = 全 $\alpha$ 放射能濃度測定値 $\times$ 基準 $\beta/\alpha$ 比	大気中放射性物質測定装置 ・ ZnS (Ag) シンチレーション検出器 (全 $\alpha$ 放射能) ・ プラスチックシンチレーション検出器 (全 $\beta$ 放射能)
	測定法 : ヨウ素モニタによる大気中放 射性ヨウ素測定 捕集材 : ろ紙(60mm $\phi$ )及びチャコール カートリッジ(60mm $\phi$ ) 捕集方式: 捕集材自動交換方式 吸引量 : 約 50L/分 吸引口高さ: 地上 2.2m 校正線源: 模擬ヨウ素 ( $^{133}\text{Ba}$ 及び $^{137}\text{Cs}$ )	・ 2" $\phi$ $\times$ 2" NaI (Tl) シンチレーション検出器
	測定法 : 大気浮遊じんの連続採取及び 全 $\beta$ 放射能測定 (捕集及び測定は同時方式) 捕集材 : ダストモニター用ろ紙(長尺) 捕集方式: 捕集材連続移動方式 吸引量 : 約 250L/分 吸引口高さ: 地上 2.5m 校正線源: $\text{U}_3\text{O}_8$	大気中放射性物質測定装置 ・ プラスチックシンチレーション検出器

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定（つづき）

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (機器分析)	<p>測定法 : 「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー(令和2.9 [改訂] 原子力規制庁)」に準拠  「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の前処理法(昭和57.7 文部科学省)」に準拠  「放射性ヨウ素分析法(平成8.3 [改訂] 文部科学省)」に準拠</p> <p>[試料採取方法]  大気中放射性物質(大気浮遊じん)  (1)ダストサンプラー法  捕集材:ダストモニター用ろ紙(長尺)  吸引量:約100L/分  吸引口高さ:地上2.2m  (2)ハイブリウムエアサンプラー法  捕集材:ハイブリウムエアサンプラー用ろ紙  吸引量:約800L/分  吸引口高さ:地上1.1m</p> <p>[試料測定形態]  降下物(雨水ちり)  :蒸発濃縮物  大気中放射性物質(大気浮遊じん)  :灰化物(ダストサンプラー法)  :ろ紙(ハイブリウムエアサンプラー法)  陸 水(水道水)  :蒸発濃縮物  土 壌(2層)  :乾燥細土  指標植物(松葉)  :灰化物  畜産物(牛乳)  :灰化物(<sup>131</sup>Iは生試料)  農産物 :灰化物(白菜中<sup>131</sup>Iは生試料)  海 水 :AMP-MnO<sub>2</sub>法による共沈物  海底土 :乾燥細土  指標海産物(ホンダワラ)  :灰化物(<sup>131</sup>Iは生試料)  海産物 :灰化物(イワノリ、ワカメ中<sup>131</sup>Iは生試料)</p> <p>[測定容器]  灰化物、蒸発濃縮物、乾燥細土、共沈物  :U-8容器又はそれに準じたもの  生試料 :マリネリ容器</p>	<p>ゲルマニウム半導体検出器付核種分析装置  相対効率:約45%  分解能:約1.9keV  遮蔽材:鉄10mm  鉛120mm  無酸素銅5mm  アクリル5mm</p>

(注) 「県」は石川県実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定（つづき）

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (機器分析)	<p>測定法：「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー(令和2.9 [改訂] 原子力規制庁)」に準拠  「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の前処理法(昭和57.7 文部科学省)」に準拠  「放射性ヨウ素分析法(平成8.3 [改訂] 文部科学省)」に準拠</p> <p>〔試料採取方法〕  (大気浮遊じん)  ダストサンプラー法(大気浮遊じんの連続採取及び全β放射能測定の項参照)</p> <p>〔試料測定形態〕  降下物(雨水ちり)  ：蒸発濃縮物  大気中放射性物質(大気浮遊じん)  ：灰化物(1カ月間のろ紙)  陸 水(水道水、河川水)  ：蒸発濃縮物  土 壤：乾燥細土  指標植物(松葉)  ：灰化物  畜産物(牛乳)  ：灰化物(<sup>131</sup>I は生試料)  農産物：灰化物(葉菜中<sup>131</sup>I は生試料)  海 水：AMP-MnO<sub>2</sub>法による共沈物  海底土：乾燥細土  指標海産物(ホタテ)  ：灰化物(<sup>131</sup>I は生試料)  海産物：灰化物(ワカメ中<sup>131</sup>I は生試料)</p> <p>〔測定容器〕  灰化物、蒸発濃縮物、乾燥細土、共沈物  ：U-8 容器  生試料：マリネリ容器</p>	<p>ゲルマニウム半導体検出器付核種分析装置  相対効率：約40%  分解能：約1.9keV  遮蔽材：鉄60mm  鉛100mm  無酸素銅5mm  アクリル5mm</p>

(注) 「電」は北陸電力実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定 (つづき)

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (放射化学 分析)	測定法 : 「放射性ストロンチウム分析法 (平成 15.7 [改訂] 文部科学 省)」に準拠 [測定容器] 25mm φ ステンレススチール皿	低バックグラウンド放射能自動測定 装置 測定効率 : 約 26%(1 インチ検出器)又は 約 40%(2 インチ検出器) 遮蔽材 : 鉛 (約 100mm)
	測定法 : 「トリチウム分析法 (令和 5.10 [改訂] 原子力規制庁)」 に準拠 [測定容器] 100mL テフロン瓶	低バックグラウンド液体シンチレー ション計測装置 測定効率 : 約 25% 遮蔽材 : 鉛 (約 100mm)
	測定法 : 「放射性ストロンチウム分析法 (平成 15.7 [改訂] 文部科学 省)」に準拠 [測定容器] 25mm φ ステンレススチール皿	低バックグラウンド放射能自動測定 装置 測定効率 : 約 30% 遮蔽材 : 鉛 (約 100mm)
	測定法 : 「トリチウム分析法 (令和 5.10 [改訂] 原子力規制庁)」 に準拠 [測定容器] 100mL テフロン瓶	低バックグラウンド液体シンチレー ション計測装置 測定効率 : 約 25% 遮蔽材 : 鉛 (約 100mm)

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(3) 気象要素の観測

石川県実施分

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
風 向	尾翼－光エンコーダ方式* <sup>1</sup> 又は 尾翼－磁気エンコーダ方式* <sup>2</sup>	風 向 風 速 計
風 速	プロペラー光パルス方式* <sup>1</sup> 又は プロペラー磁気パルス方式* <sup>2</sup>	
日 射 量	銅－コンスタンタン熱電対方式	日 射 計
放射収支量	銅－コンスタンタン熱電対方式	放 射 収 支 計
気 温	白金測温抵抗方式	温 度 計
湿 度	静電容量方式	湿 度 計
降 水 量	温水加温受水口－転倒升方式* <sup>1</sup> 又は パイプヒータ付転倒升方式* <sup>2</sup>	雨 雪 量 計
積 雪 深	可視光レーザー反射方式	積 雪 深 計
感 雨 雪	電極間抵抗変化方式	感 雨 雪 計
感 雷	大気中電界強度測定方式	感 雷 計

\*<sup>1</sup>：風無局、熊野局、福浦局、直海局、五里峠局、赤住局、志賀局、土川局、大津局

\*<sup>2</sup>：大福寺局、大西局、西岸局、能登島局、笠師保局、田鶴浜局、東湊局、末坂局、  
能登部局、一ノ宮局、門前局、本郷局、大町局、志雄局、押水局

北陸電力実施分

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
風 向	尾翼－制御シンクロ方式	風 向 風 速 計
風 速	プロペラーパルス方式	
気 温	白金測温抵抗方式	温 度 計
降 水 量	電熱加温漏斗－転倒升方式	雨 雪 量 計
感 雨 雪	電極面短絡電流方式	感 雨 雪 計



2 測定値の取扱い

項	目	単位	測定値の取扱い	備考
空間放射線	線量率	nGy/h	小数第1位まで (石川県) 有効数字3桁 (北陸電力)	10分値
	積算線量	mGy/91日	有効数字2桁又は小数第2位まで	
大放射気性物質中質	全α放射能	Bq/m <sup>3</sup>	有効数字2桁又は小数第2位まで (石川県のみ)	石川県：10分値 北陸電力：1時間値
	全β放射能	Bq/m <sup>3</sup>	有効数字2桁又は小数第2位まで	
環境試料中の放射能	放射性ヨウ素	Bq/m <sup>3</sup>	有効数字2桁又は小数第2位まで (石川県のみ)	
	降下物	Bq/m <sup>2</sup> ・月	本文中に記載する測定値の有効数字は原則として2桁	
	大気中放射性物質	mBq/m <sup>3</sup>	・資料編では測定値に計数誤差を併記	
	陸水・海水	mBq/L	・放射能濃度が検出目標レベル未満の場合はLTD (Less Than Discrimination level) とする。(検出目標レベルは次ページ以降に示す。)	
	土壌・海底土	Bq/kg 乾土	・放射能濃度が検出下限値未満の場合はND (Not Detected) とする。(放射能濃度をN、計数誤差をΔNとしたとき、N<3ΔNを検出下限値未満とする。)	
	農水産生物	Bq/kg 生	・降下物は30日換算値	
	牛乳	Bq/L	・「その他の核種」は <sup>51</sup> Cr、 <sup>54</sup> Mn、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>134</sup> Csを表す。 <sup>134</sup> Csについては福島第一原子力発電所事故時のみ検出、それ以外の核種についてはこれまで検出されてことが無いことからまとめて記載する。検出された場合、個別に記載する。(海水のその他の核種は <sup>54</sup> Mn、 <sup>59</sup> Fe、 <sup>58</sup> Co、 <sup>60</sup> Co、 <sup>134</sup> Csを表す。)	
	陸水	mBq/L		
	土壌・海底土	Bq/kg 乾土		
	農水産生物	Bq/kg 生		
放射化学分析	牛乳	Bq/L		
	陸水・海水	Bq/L		
風	風向	16方位		石川県：10分値 北陸電力：1時間値
	風速	m/s	小数第1位まで	

(注) 数値の丸め方は四捨五入とする。

北陸電力の気象要素の1時間値については、正時前10分値を1時間値とする。

### 3 検出目標レベル

ゲルマニウム半導体検出器による測定は、検出器の性能、試料の形状、測定時間等により検出下限値が異なるため、検出目標レベルを定めて運用する。次表に試料毎の核種別の検出目標レベルを示す。

測定試料	測定条件		<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>131</sup> I (直接法)	単位
	供試料量	試料形状等									
陸上試料	降下物 (雨水ちり)	月間全量 (0.5m <sup>2</sup> )	4	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	—	Bq/m <sup>2</sup> ・月
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	8,000～ 10,000m <sup>3</sup>	0.9	0.02	0.08	0.04	0.02	0.02	0.02	—	mBq/m <sup>3</sup>
	陸水	20L	40	4	6	4	3	3	4	—	mBq/L
	土壌	100g 乾土	20	2	3	2	2	2	2	—	Bq/kg 乾土
	指標植物 (松葉)	1kg 生	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	—	Bq/kg 生
	畜産物 (牛乳)	2L	0.5	0.07	0.2	0.09	0.09	0.09	0.06	0.07	Bq/L
	農産物	1kg 生	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
	海水	20L	—	3	6	3	3	3	2	—	mBq/L
	海底土	100g 乾土	20	2	3	2	2	2	2	—	Bq/kg 乾土
	指標海産物 (ホンダワラ)	1kg 生	2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
海洋試料	海藻類	1kg 生	2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
	貝類 魚類	1kg 生	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	—	Bq/kg 生

(注)「—」は調査対象外を示す。

### 3 検出目標レベル (つづき)

ストロンチウム、トリチウムの測定は、検出器の性能、試料の形状、測定時間等により検出下限値が異なるため、検出目標レベルを定めて運用する。  
 次表に試料毎の核種別の検出目標レベルを示す。

測定試料	測定条件		<sup>90</sup> Sr	<sup>3</sup> H	単位
	供試料量	測定時間			
陸上試料	水	50mL	—	1	Bq/L
		100L	0. 2	—	mBq/L
	壤土	100g 乾土	0. 4	—	Bq/kg 乾土
農畜産物	畜産物 (牛乳)	2L	0. 0 2	—	Bq/L
	農産物	1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生
海洋試料	水	50mL	—	1	Bq/L
	海底土	100g 乾土	0. 4	—	Bq/kg 乾土
	海藻類	1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生
貝魚類		1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生

(注) 「—」は調査対象外を示す。

#### 4 比較対照地点の位置

